

母と子の笑顔広げる
「花巻ママハウス」の成果報告書

第2号

2015.4.1 - 2016.3.31



“ひな祭り” ピエロが登場

特定非営利活動法人 母と子の虹の架け橋

発刊に寄せて

命に寄り添い、ママと子の笑顔を拓ける ～定量目標と定性目標への自己評価～

「花巻ママハウス」は今年度 2 年目を迎えた。独立行政法人福祉医療機構の助成を得、定性目標と定量目標を掲げて事業展開を行った。目標の達成度を見ていきたい。

「花巻ママハウス」は、ママのママ友づくりや実家のように寛いでいただく「サロン活動」、女性の抱える問題を寄り添って問題の解決を行う「女性何でも相談」、子育て・家事の負担感軽減のための「サポーター派遣事業」の 3 つの事業を展開している。

まず、「サロン」の定量目標では、利用者 1 月あたり 60 人程度、ママハウス応援団 5 人程度を掲げたが、この 4 月から 2 月までの来館者で見ると月 74 人で、目標は達している。この要因は、ベビーマッサージ・赤ちゃんヨガなど 20 近い各種メニューを提供し、サロン通信を発行し、市内の公共施設に配布のほか、民間の新聞販売店発行のミニコミ紙に毎月、「花巻ママハウス」の便りが載せられていることが効果の要因と考える。ことに、昨年、“花巻市・花巻市教育委員会・花巻市社会福祉協議会の事業への協賛が受けられたことも要因であろう。

「妊産婦等子育て家事支援サポーター派遣事業」の広報活動では、手作りポスターとチラシを作成し、保育所や幼稚園にお届けした。大型店では、トイレの中にもポスターが貼られ、“女性相談のしおり”など置いて頂いたり、民間事務所でも窓にポスターを貼って頂くなどのご協力もある。

「女性なんでも相談事業」では、当初予定した年間 90 人、課題解決は 60 人の目標のところ、昨年度の相談対応は延で 96 人となった。実数は 42 人と予定を下回っているが、徐々に相談室の存在が浸透し、電話・来所・メールを含め、前年に比し増加している。「花巻ママハウス」の女性相談室は、悩み事をゆっくりお伺いし、一緒に何が問題となっているかを考えるスタイルで相談を受けているが、相談者のエビデンス（対象者の抱える悩みが解決または軽減されたとする人の割合）の当初目標 7 割に対し、その結果は 6 割であった。最近の相談傾向としては、心の不安やトラブルの相談が増加の兆しであることから、「花巻ママハウス」の相談室は、女性弁護士はじめアドバイザー 3 名の配置のほか、新たに、精神福祉士及び社会福祉士の専門相談員を配置し、医療連携などにも意を払っている。

「妊産婦等子育て・家事サポーター派遣事業」では、育児・家事等の支援を必要とする妊産婦等のご家庭に対し、年間延 300 時間の派遣を目標としたが、現時点では 7 時間に留まってしまっている。サポーター（第三者）が家庭に来られることの心理的な抵抗感が強いことと、市で実施しているファミリーサポート事業との競合が伺われる。現時点のサポーター登録者数は 20 人、利用登録者数も 20 人である。しかし、いざという時に利用できるように申請されている傾向で、実際の利用に至ってはいな

い。ママたちは、ぎりぎりまで自力で頑張ろうとされているが、もっと外部の手を気軽に受け入れられるようでないと、ママの子育て等の負担は軽減されない。実際の派遣実績も、一時預かり 27 時間を加えても延べ 33 時間に留まっている。“頑張ることが当たり前”の文化を岩手に強く感じる。

「花巻ママハウス」の成果報告書

沿革と目的

「花巻ママハウス」が生まれたのが 2014 年 6 月 4 日、「母と子の虹の架け橋」の“ママと子の笑顔広げる”をミッションにして、「サロン活動」と「女性何でも相談事業」の二事業で発足した。

2015 年度は独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成を受けて、それまでの 2 事業に加え、

12 月から、「妊産婦等の子育て家事支援サポー

ター派遣事業」が加わった。この事業は、花巻市の子ども課や子育て支援センター及び保健センターのご支援を得て事業が生まれた。



さて、開設時からのサロン活動は、「花巻ママハウス」の土台となる事業で、「花巻ママハウス」の存在を知っていただく、また、サロンへの参加でママ友づくり（ママたちのネットワークづくり）と心寛げる実家（居場所空間）機能が果たされている。サロンの参加・活用で、「花巻ママハウス」の存在を知っていただき、ここから、親しまれ利用され、ママの種々の問題解決や活動の糸口が生まれることを目的に開設しているのがサロンである。

利用者数

☆平成27年度 利用者数台帳											
利用者総数台帳(=ママハウス来所者・外部講師・ボランティアスタッフ・その他関係者)											
大人総数		子供		ちママ・一般利用		うち講師		その他			
大人	累計	子ども	累計	母	累計	講師	累計	協力者	累計		
4月	61	61	44	44	46	46	7	7	0	0	
5月	64	125	48	92	47	93	10	17	0	0	
6月	57	182	39	131	48	141	8	25	0	0	
7月	101	283	91	222	86	227	11	36	0	0	
8月	45	328	38	260	36	263	4	40	0	0	
9月	66	394	58	318	55	318	10	50	0	0	
10月	85	479	76	394	70	388	5	55	0	0	
11月	78	557	60	454	58	446	7	62	0	0	
12月	67	624	67	521	61	507	4	66	2	2	
1月	52	676	51	572	49	556	6	72	0	2	
2月	91	767	82	654	81	637	3	75	2	4	
3月	91	858	90	744	77	714	4		1		
計	858		744		714		79		5		

2015 年度の「花巻ママハウス」の利用者数は上の表の通りである（3 月末データ）。

サロンでは幼稚園の保護者会のように、同じ園のママ同士がお茶を楽しんだり、時に弁当持参で見えられることもある。上の図の第 1 段階と第 2 段階のネットワークと居場所空間になってきた年度でもあった。

加えて、ママたちが、赤ちゃんを連れて歩けるお店や公園が何処にあるかの地域点検！？を始めている。第 3 段階の広がる活動である。他に、リサイクル交換会やあな吉手帳と言った、アクティブに活動に繋がるツールを学んでもいる。また、手作り品に価格を付け、「花巻ママハウス」内にて販売をしている。勿論、売却額はすべて出展者に届けられている。

1. サロン活動 ママ 767 人・子ども 654 人

2015 年度の「花巻ママハウス」の利用者数は左の通りである（2 月末データ）。

サロンでは幼稚園の保護者会のように、同じ園のママ同士がお茶を楽しんだり、時に弁当持参で見られることもある。右図の第 1 段階と第 2 段階のネットワークと居場所空間になってきた年度でもあった。

加えて、ママたちが、赤ちゃんを連れて歩けるお店や公園が何処にあるかの地域点検！？を始めている。第 3 段階の広がる活動である。他に、リサイクル交換会やあな吉手帳と言った、アクティブに活動に繋がるツールを学んでもいる。また、手作り品に価格を付け、「花巻ママハウス」内にて販売をしている。勿論、売却額はすべて出展者に届けられている。

利用者の声

- ・ 友達ができた。
- ・ 楽しい！
- ・ 子育てが楽しめる気持ちになれた！・・・
- ・ 本を頂きました。買うとなると良い値段なのでうれしかった！
- ・ はじめてお茶ベリアロマに来ました。息抜きができた！
- ・ もっとママと交流したい！
- ・ 情報交換できたのですごく楽しかった！
- ・ ママ同士のおしゃべりが楽しい！
- ・ 友達と気軽に集まることができてうれしい。我が家だと気を遣うので・・・
- ・ 毎日のようにゆっくりできるので良いスペースをありがとう！ いろいろな講座が有るので嬉しいです！
- ・ 毎日参加させて貰ってます。ストレス発散になるのですごくうれしい！

1-1 働きたいママのおしゃべりルーム （キャリアカウンセラー 早川千春）マ
マ 18 人・子ども 19 人

参加者の感想

- ・ 同じ気持ちのママがいてホッとしました。

- ・ お仕事に就くまでのプロセスを教えていただいたので参考にしたいです。
- ・ 話すことでスッキリしました。もっと明確に就職の準備をしたいです。
- ・ 何からスタートしたら良いのかモヤモヤして気持ちだけがあせていたが、心の準備が整った。
- ・ 働き方を考え直したいところなので、それを言葉にできてよかった。
- ・ 自分の意見だけでなく様々な話を聞いて良かったです。



講師の感想

子育ても大事。その一方でもう一度働きたい！社会に貢献したいと思っているママがいることをあらためて実感しました。そして働きたいとは思っていてもその為の方法がよく分からなかったり、やっぱり子供のことを思うとまだ働くことはやめた方がいいかしら、と子育てをしながら働くことへの気持ちの葛藤があったりと、日々悩んだり迷ったりしている様子が伺えました。

そんな日々のモヤモヤ感を放す（＝話す）雰囲気作りを行い、自分の今の気持ちを発散してもらうことがわかり、そのことが安心感・共感につながり、さらに私も頑張ろうというやる気へと講座に参加することで参加者が変化しているように思いました。

1－2 子連れヨガ（ヨガインストラクター 佐藤 忍）ママ 15 人・子ども 15 人

参加者の感想

- ・ リラックスできた。
- ・ 子連れでヨガが出来て嬉しい。
- ・ 終わったあとヨガや育児について話し合えるので安心できた。



講師の感想

講座の中では、産後間もない女性の骨盤にアプローチし、妊娠出産により緩んだ筋肉を引き締めつつ、精神的にもリラックスへと導いていった。産後の体のどこが弱いのか、どう引き締めたらいいのかなどが意識づけられて、良かったように思います。心身のリラックスはもちろんですが終了後に他のママたちと感想をシェアしたりできることが安心感につながっているように思いました。）

1－3 リンパマッサージ、タイ式セラピー、温熱療法マッサージ ママ 31 人・子ども 25 人

（リンパマッサージセラピスト 齋藤純江）

参加者の感想

- ・ 健康だと思っていたけど全然違って体は悲鳴をあげていたんだと気づいた。
- ・ 子連れでマッサージはなかなかできないので、こういう場所があると助かります。
- ・ 水分補給が大事だと分かった。
- ・ 育児疲れがひどくこの時間が唯一の癒しだ。
- ・ 自分へのご褒美です。凄く体が楽になって良かった。

講師の感想

ママのリラクゼーション効果、日々の疲れの癒しを感じてもらえるように月に1～2度開催。

子連れで参加できる気軽さが喜んでもらえた。

1-4 ベビーマッサージ・赤ちゃんヨガ ママ 65 人・子ども 67 人
(ベビーケア・インストラクター 高橋恵美)

参加者の感想

- ・ 子供がよい表情で参加できたので、参加してよかったです。
- ・ 家でもマッサージをすると、気持ちよく反応してくれえるので家でもやっていきたいと思います。
- ・ 他のママ達とおしゃべりするだけでリフレッシュになるので良かった。
- ・ 赤ちゃんの短い時期をベビーマッサージを通して楽しく過ごしていきたいです。
- ・ 初めての参加でも、雰囲気もよく人見知りな自分もなじみやすい。



講師の感想

毎月2回、ベビーマッサージ講座と赤ちゃんヨガ講座を開催している。講座の中では、ベビーマッサージ以外に、ふれあい遊びや赤ちゃんとの遊び方、ママのリフレッシュを兼ねて赤ちゃんとできる親子の運動遊びも伝えている。赤ちゃんとのコミュニケーションがとりにくい時期に楽しく関わることができると受講者から好評を得ている。

赤ちゃんの参加対象を低月齢、高月齢に分けて講座を行い、ママ同士赤ちゃんの成長様子など身近に感じて交流しやすい雰囲気で行うことにより、初対面同士のママも自然に会話が弾み、連絡先を交換したり、講座を通して友人になる様子が見られる。親子のふれあい、ママ同士の交流の場になり嬉しく感じる。

1-5 ベビーダンス (ベビーダンスインストラクター 浅沼美季) ママ 84 人・子ども 84 人

参加者の感想

- ・ 久しぶりに身体を動かして、汗をかいてスッキリした。ベビーダンスをして、気付いたら子どもがスヤスヤと寝ているのにビックリした。
- ・ 簡単なリズムだったので、すぐに慣れた。楽しく、子どもも寝てくれてとても良かった。
- ・ 普段、あまり運動しないので、すごくいい運動になった。ダンスや歌が好きなので、とても楽しかった。
- ・ 抱っこひものつけ方を教えてもらえて良かった。抱っこが軽くなった。
- ・ 久しぶりの運動で、すごくリフレッシュできた。レッスン後のおしゃべりタイムも楽しかった。
- ・ 手遊びからストレッチや最後の深呼吸まで、どれも楽しく身体に気持ち良い運動で、いつも楽しくやらせてもらってます。



講師の感想

今年度は、前年度よりもベビーダンスを受講していただいた人数が多くなりました。

少しずつ花巻のママ達にベビーダンスを知っていただいているのかな…と思います。レッスンでは、いつも育児を頑張っているママたちに、スッキリとして心と身体をリセットして帰っていただけるように進めています。ベビーダンスをして「気持ち良かった」、「スッキリとしました」、「また次回も参加します」という言葉が多いので、私自身も毎回嬉しく思っております。中には、「お家でも復習しています」というお話も聞きます。今後もベビーダンスを通してママと赤ちゃんをハッピーにするお手伝いのできればと思っております。

1-6 お茶べりアロマ (インストラクター 高橋恵美)

ママ 48 人・子ども 61 人



参加者の感想

- ・アロマの香りでリラックスできた。
- ・子どもにも使えるアロマが、良い香りで、手作りで作ることができてうれしい。
- ・アロマに癒され、他のママ達との情報交換もできてとても楽しかった。
- ・子供が生まれてから、自然の物や製品に興味を持つようになった。
- ・余計なものが入らない手作りのアロマクリームは使うことに安心ができた。

講師の感想

アロマセラピーを子どもとの生活の場面に気軽に生活に取り入れてもらおうと企画している。

今年度は、アロマスプレー、日焼け対策クリーム、小豆のアイピロー作り、アロマクリーム作りの4回開催。ママのニーズと季節に合わせたアロマクラフト作りで、アロマに初めて触れる人にも関心が高く、楽しんで参加いただけた。



1-7 アルバムの時間 (サロンパートナー 中村湖帆) ママ 32 人・子ども 34 人

参加者の感想

- ・写真の整理もできたのでよかった。
- ・毎回楽しく参加させてもらっています。
- ・ストレス発散にもなるし、すごく嬉しいです。
- ・夢中になって取り組みました。またチャレンジしたいです。



講師の感想

我が子の写真を撮るだけ撮っても、なかなか現像できないし…ましてやアルバムを作る時間がない。そんな子育てママさんの悩みを、ちょっとだけお手伝いする講座。おしゃべりしながら楽しくアルバム作りができるようたくさんの文房具を用意したりアルバム作りのアドバイスをしている。最初は受身勝ちだった方も、自分で材料を持参するようになり、この時間を楽しみにしてくださっていると嬉しい。毎月来る方同士顔なじみになり、アルバムを作りながら情報交換をしたり、おしゃべりが弾んでいる様子。

定期的に来る方に今年度やりたかった「展覧会」の話を持ち掛けたところ、「やりたい！」という声もあり、実施に向けて動きたいと思う。ハロウィンや年賀状作りなど、季節のイベントに応じたアルバムの時間を設けたところ、大変好評だったので、今後も組み込んでいきたい。

1-8 あな吉手帳講座 (あな吉手帳インストラクター 登間みき)

ママ 34 人・子ども 9 人

参加者の感想

- ・ 今回は参加できて大変うれしかったです。かわいいものに触れて、とても心が弾みました。貴重な情報をたくさん頂いて、これからはあな吉手帳を始めるのがすごく楽しみになりました。
- ・ すごくためになる講座でした。基礎講座まで、受ければよかったなと思いました。
- ・ ふせん術、とても楽しかったです。楽しい講座でした。今後もこのような機会があって欲しい。
- ・ 手帖倶楽部もまたやってほしいです。
- ・ 手帖倶楽部でまた情報を交換して新たに作っていただけたら嬉しいです。今後も続けて頂けると嬉しいです。

講師の感想

12月、2月と講座をしてみて、1度目の講座では、不安あったようで少し緊張感があったように感じましたが参加者さん同士が繋がっていたり、講座の中で質問を沢山されていくうちに大分打ち解けてくれました。今回はお子さま連れの方が多かったと思いますが、皆さんお子さんを大事に見守りながら上手に話を聞いてくださいました。スタッフのフォローも素晴らしかったです。

あな吉手帳術講座

「やらなくちゃ!」「やらない!」「でも時間が無い!」
あな吉手帳術の魅力をぜひ体験してほしい! 是非あな吉手帳術の魅力をぜひ体験してほしい! 是非あな吉手帳術の魅力をぜひ体験してほしい!

はじめて講座
「あな吉」の魅力をぜひ体験してほしい! 是非あな吉手帳術の魅力をぜひ体験してほしい! 是非あな吉手帳術の魅力をぜひ体験してほしい!

基礎講座
あな吉手帳術の魅力を知りたい! 是非あな吉手帳術の魅力をぜひ体験してほしい! 是非あな吉手帳術の魅力をぜひ体験してほしい!

12月13日(日) まなび学園 和室
はじめて講座 10時~11時半 1000円+500円 (参加費)
基礎講座 13時~15時 2000円+500円 (参加費)

あな吉手帳術講座

「やらなくちゃ!」「やらない!」「でも時間が無い!」
あな吉手帳術の魅力をぜひ体験してほしい! 是非あな吉手帳術の魅力をぜひ体験してほしい! 是非あな吉手帳術の魅力をぜひ体験してほしい!

基礎講座
10:00~12:00
あな吉手帳術の魅力を知りたい! 是非あな吉手帳術の魅力をぜひ体験してほしい! 是非あな吉手帳術の魅力をぜひ体験してほしい!

フォローアップ講座
13:30~15:30
あな吉手帳術の魅力を知りたい! 是非あな吉手帳術の魅力をぜひ体験してほしい! 是非あな吉手帳術の魅力をぜひ体験してほしい!

2月27日(日) まなび学園 和室
基礎講座 10時~12時
フォローアップ講座 13時~15時

1-9 手帖倶楽部 (サロンパートナー 中村湖帆) ママ 16 人・子ども 16 人

参加者の感想

- ・ 手帳のみならず、他の情報交換の場にもなり、楽しみ方が広がった。
- ・ 一人で黙々とやるより、みんなと情報交換できると楽しいし、やる気がでる。
- ・ 以前に教えてもらっていたが、忘れてしまっていた事を思い出せた。

開催の意図

「なかなか子どもの成長記録を書く時間がなくて…」というママの声から生まれたこの企画。さらには「手帳術を学びたい!」という声もあり、「あな吉手帳術」も学んだ。手帖倶楽部の時間では覚えてたの手帳術の情報交換をしたり、ママ同士おしゃべりしながら手帳タイムを楽しんでいる。



1 - 10 血流測定会 (ニコニコ健康プロジェクト 籠谷睦美)

ママ 17 人・子ども 17 人

参加者の感想

- ・ 血流測定でこんなこともわかるのか!と驚きました。
- ・ 自分の身体の状態を意識するようになった。
- ・ 気軽に測定するうちに、真剣に悩みを相談していて、健康を意識していることが良くわかった。
- ・ 病院に行くまでも無いけど、普段の生活で気になっていることに気づくことができた。

主催者の感想

病院に行くまでもないけど、健康が気になる…そんなママの健康状態をチェックしてもらおうと開催。血圧は気軽に測れても、中々知ることのできない血液の流れの状態など健康状態をに目を向けてもらいました。

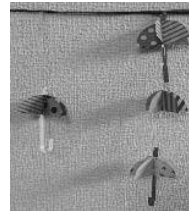


1 - 11 ミニ工作・折紙教室 (サロンパートナー 中村湖帆・澤田節子)

ママ 43 人・子ども 45 人

参加者の声

- ・ 折紙は難しいけど、何回か折ってきちんと覚えたい。
- ・ 簡単にかわいい物が作れるので、家でもやってみたい。
- ・ ママ向けの工作なのが嬉しい。
- ・ お家に飾ります!



企画の意図

子連れでもママの好きなことをできる時間を持てるように。ママ同士が同じ好きなものに取り組める環境を整えることで気兼ねなく参加されている。

1 - 12 リサイクル交換会 (サロンパートナー 中村湖帆) ママ 88 人・子ども 89 人

参加者の声

- ・ タダで交換最高です。
- ・ 無料でたくさん頂けてとても満足でした。
- ・ これからもリサイクル続けてほしいです。いつも助かっています。
- ・ もっとリサイクル交換会を増やしてほしいです。

- ・ 子供服はすぐに着れなくなっていますので。こういうイベントをして頂けると、とても助かります。

企画の意図

昨年度より利用者様に好評で継続して行っている。今年度は、春夏秋冬と季節毎に行い、更に今すぐ必要な服の交換会を行うことができた。「捨てるのはもったいない…でも譲り先が見つからない」という子ども服、授乳服、妊婦服の交換をした。利用者様のご希望により本の交換も取り入れ、育児本や離乳食の本など赤ちゃん時期に活用できる本の交換は、大変喜ばれた。リサイクル交換を通して提供した人の顔が見える、もらった人の顔が見えるという安心からママ同士も話がはずみ賑やかな交流の場となっている。

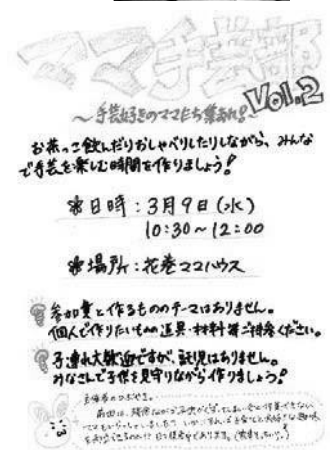
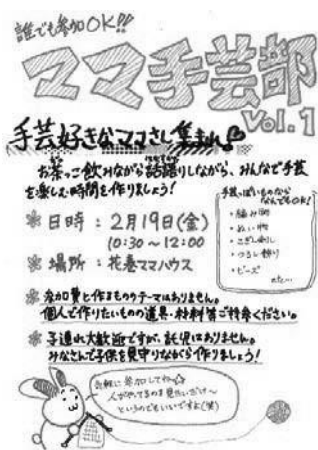
1 - 13 ママ手芸部 (サロンパートナー 中村湖帆)

参加者の声

- ・ アットホームな感じで楽しかったです。
- ・ とても楽しかったです。
- ・ やりたいことができる場があり、ありがたいなあと本当に思います。

企画の意図

「お茶を飲みながら、おしゃべりしながら手芸をしたい」というママの声からママが主催の手芸部を企画発足しました。作るものは自分で用意し、作りたいものも自分で考えるという自由な取り組みが参加者様から好評です。子どもを連れて、自宅では時間の取りにくい手芸をおしゃべりしながら作ること、話すことの相乗効果でリフレッシュできると喜ばれています。



1 - 14 MA・marche (サロンパートナー 中村湖帆) ママ 4 名

参加者の声

- ・ 手軽にかわいい雑貨が買えて嬉しい。
- ・ 自分が作った物を手にとってもらえると、自信につながる。
- ・ ちょっとした時間を手芸にあてることで、生活にハリがでる。

企画の意図

ママが趣味や息抜きで作ったちょっとした手芸品を販売する。売上の一部を募金していただく、チャリティーコーナー。「MA・marche(マ・マルシェ)」は、ママのマルシェ(市場)という意味合いを込めた言葉。



1 - 15 クリスマス (サロンパートナー 中村湖帆)

参加者の声

- ・ オリジナリティがありとても楽しめました。クリスマスランチもとても美味しかったです。新しい企画もあり、他の支援センターにはないママ達在实际
- ・ 楽しめるスキルアップにつながる企画がとても充実している。
- ・ プレゼント交換や食事会といった、ワイワイできる楽しい企画だったのでよかったです。色々、今までと違った企画も増えてきて、毎月の予定が出るのが楽しみです。
- ・ プレゼント交換は自分では選ばない物をもったり、楽しかったです。
- ・ 他のママと触れ合う機会が少ないので、とてもありがたいです。同じ悩みを皆さん抱えているんだなと思うと気が楽になりました。
- ・ とても楽しくて、美味しいご飯が食べられて幸せでした。たまには「ママの為」というのも良いですね。



企画の意図

ママを主役にしたクリスマス会を行った。大人同士のプレゼント交換や、大人向けの手作り食事の会食、交流会を開催。子ども向けの行事が多い中で、ママが中心の行事でうれしいと喜んでもらった。

1 - 16 ひなまつり (くらうんしゅがー 佐藤敦士)

参加者の声

- ・ 読み聞かせがあったり、ピエロさんのマジックがあったりと楽しませてもらいました。今後もこのようなイベントに参加できたらいいなと思います。
- ・ 絵本の読み聞かせやピエロさんの手品など、とても楽しめた。ごはんも美味しかった。
- ・ また色々な企画があれば、リフレッシュに参加したいです。
- ・ いつも楽しい企画ありがとうございます。ママ向けの企画は中々ないので嬉しいです。
- ・ ひなまつりの歌うたう、雛飾りなど雰囲気をもっとあるとよかった。
- ・ 久しぶりに知人に会えてうれしいです。“くらうんしゅがー”さんも、まさかいらっしやるとは思っていませんでしたので、とても楽しむことができました。



企画の意図

ママが主役のイベントを企画したいという意図から、ひなまつり会を企画する。ピンク色のドレスコードを決めて、“しゅがーくらうん”さんに絵本の読み聞かせや手品等披露して頂き、大人向けにちらし寿司など食事を用意し会食を行った。大人も童心に戻って楽しめた。

2. 「花巻ママハウス」通信

毎月、サロンパートナーの編集で印刷され前月下旬に、下記の施設で配布頂いている。

保健センター・まなび学園・こどもセンター・花巻市役所・花巻市内図書館・社会福祉協議会・花巻市内子育て支援センター・ジョブカフェ・花巻市交流会館・中部病院・KUBOクリニック・宮内婦人科心療内科クリニック・工藤医院・川嶋医院・イトーヨーカドー・こどもみらいクリニック・はじめこどもクリニック・アルテ・宮沢新聞店・baju・おいものせなか・フォルダ・産直あおぞら・つたのわ

各種サロン活動のご案内のほか、くらうん・しゅがー（生涯学習センターの生涯学習部長の佐藤敦士氏）の投稿コーナーが設けられ、子育てママへの一口メモが綴られている。

*「花巻ママハウス」のWEBで、これまで発刊の通信を見ることができる。

3. 女性なんでも相談

2014年12月、当初、相談日は週2日（土曜・月曜）でスタートした。その後、徐々に相談日を増やし、2016年1月以降は祝日以外毎日対応で、各種ご相談を承っている。現在、相談員は理事長含め4名で、各々の資格および経験を活かしながら相談に応じている。なお、専門的指導を仰ぐため、釜石ひまわり基金法律事務所の加藤静香弁護士、インクル岩手の山谷理恵氏、くらしのサポーターズの吉田直美氏、司法書士の小山田康彦氏外、多くの関係機関と連携を取りながら相談者の支援を行っている。また、地域連絡会を開催し、社会福祉協議会並びに地域福祉課の各相談員及び、専門委員として委嘱の社会福祉士・精神福祉士の高橋岳志氏の参画を得て、相談者のニーズに的確に対応できる相談室の運営に努めている。

3-1 目的

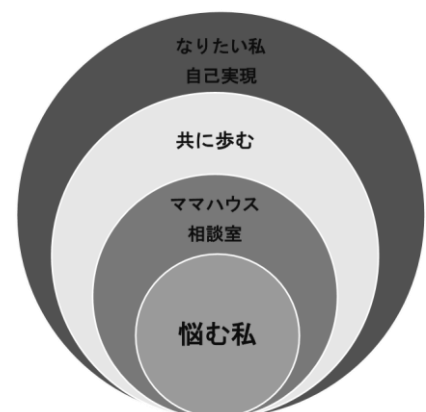
岩手県は意識や慣習の遅れで、地域・職場・家庭で女性が働くことへの理解が薄い。また、病後児保育の体制も弱く、ワークライフバランスは家庭でも職場でも遅れ、若い女性が住み・働くには問題が多い。子育てには良き自然環境でもあり、諦めと孤立から命が損なわれることの無い様、女性がいきいき生きていけるよう、相談を通して支援している。

相談したいときに相談がタイムリーに伺える状況を創るため、相談員を日々2名配置で対応できるようにすると共に、同行が必要なケースについては“より添い型相談”として、自立を保持し依存を高めない程度に、然し必要であれば積極的に相談員が同行し、相手方との調整や関係機関との連携の構築に努めている。

「花巻ママハウス」の女性相談は、ゆっくり寄り添って聴きご本人の意思を確認して、まずは相談者との信頼関係の構築に努め、本人の状況に沿った支援を考え、本人とともに動く相談活動を進めています。

3-2 相談実績

「ママハウス」の目標



①当初目標：ママハウス内の個室の相談室で、女性相談員が、月・延 10 人程度の方の様々な悩みや生活課題を聴き取り、問題・課題で苦しむ女性の課題の解決を支援する。

平成 27 年度 女性なんでも相談状況 (2016 年 3 月末現在)

平成 27 年度 女性なんでも相談状況

月	来所相談	電話相談	メール相談	相談延べ数	相談内容
H26年12月～ H27年3月	10	8	1	39	不登校2、不登校2、子育て3、借金1、病気3、人間関係2、DV2、離婚3、仕事上のトラブル3、住まい1、数職3。
4	2			6	家族・人間関係2、病気2、地域関係1。
5	1			6	離婚1、住まい1、家族関係1。
6	5			5	仕事探し1、仕事上のトラブル2、子育て1、収入1、家族関係1。
7	3		1	5	病気1、虐待1、仕事上の不安・トラブル1、離婚1、家族関係2。
8	2		1	6	借金1、家族関係1、地域との連携1。
9	2		1	12	DV1、離婚1、養育費2、借金1。
10		2		3	不登校1、家族関係1、仕事探し1、収入・生活費1。
11	2	1	1	16	子育て1、病気1、介護1、財産分与1、家事支援1。
12	3			6	住まい1、家族1、その他(虐待)1。
1	4			11	病気2、家族関係1、離婚1、不登校1。
2	7	3	1	20	病気2、子育て2、住まい1、虐待のこと1、パワハラ1、労災1、家族関係1、労災1、数職1。
3	5	3		9	家族・人間関係2、病気2、地域関係1。
合計	36	9	5	105	

★ 相談内容・・・相談は一人で複数の場合あり(重複カウント)。

月	来所相談	電話相談	メール相談	相談延べ数	内 容
H26年12月～ H27年3月	10	8	1	39	不登校2、不登校2、子育て3、借金1、病気3、人間関係2、DV2、離婚3、仕事上のトラブル3、住まい1、数職3。
H27年4月～ H28年3月	36	9	5	105	DV1、離婚3、虐待2、人間関係2、家族関係6、病気6、子育て1、養育費2、借金2、収入1、仕事トラブル4、住まい2、不登校1、仕事探し1、介護1、外1。
合計	46	17	6	144	

4	2				家族・人間関係2、病気2、地域関係1。
5	1				離婚1、住まい1、家族関係1。
6	5				仕事探し1、仕事上のトラブル2、子育て1、収入1、家族関係1。
7	3		1		病気1、虐待1、仕事上の不安・トラブル1、離婚1、家族関係2。
8	2		1		借金1、家族関係1、地域との連携1。
9	2		1	3	DV1、離婚1、養育費2、借金1。
10		2		2	不登校1、家族関係1、仕事探し1、収入・生活費1。
11	2	1	1	4	子育て1、病気1、介護1、財産分与1、家事支援1。
12	3				住まい1、家族1、その他(虐待)1。
1	4				病気2、家族関係1、離婚1、不登校1。
2	7	3	1		病気2、子育て2、住まい1、虐待のこと1、パワハラ1、労災1、家族関係1、労災1、数職1。
3	5	3			
合計	36	9	5		

★ 相談内容・・・相談は一人で複数の場合あり(重複カウント)。

月	来所相談	電話相談	メール相談	相談延べ数	内 容
H26年12月～ H27年3月	10	8	1	39	不登校2、不登校2、子育て3、借金1、病気3、人間関係2、DV2、離婚3、仕事上のトラブル3、住まい1、数職3。
H27年4月～ H28年3月	36	9	5	104	DV1、離婚3、虐待2、人間関係2、家族関係6、病気6、子育て1、養育費2、借金2、収入1、仕事トラブル4、住まい2、不登校1、仕事探し1、介護1、外1。
合計	46	17	6	143	

相談内容は、家族関係・人間関係・職場のトラブル・借金・不登校・子育て等様々であり、心の不調を持つ相談も増えている。(前頁表の通り)なお、昨年、4月から10月までは、家族関係・人間関

係・職場のトラブル・借金・不登校・子育て等様々であったが、相談者の中には、いくつもの課題を抱えていながら、身近に相談できる人や支援者がいないことが見て取れる。後半は精神疾患を持つ人の家族からの相談が急増している。しかし、精神疾患を持つ相談者に対する課題の解決や緩和に向かっては、病院・障がい者施設との連携なくして解決は不可能と思う。

不登校問題では、学校側とのコンタクトもしっかりとれることが前提である。しかし、過度な緊張や苦しみを持つ子供たちには、フリースクールなど対応できる場がもっと身近に欲しいと感じる。花巻とその近隣にはこうした施設はなく、盛岡に行かないと見いだせない現状である。

3-4 「地域連絡会」の開設について

相談者の問題や課題を共にどう改善していくか、丁寧に話を聞き、共に考えて進めていると、病院・障がい者施設との連携なくして十分な改善が図れないことを実感している。そのための地域内の各種専門機関との連携が必要であることから、2016年1月から地域連絡会を開催した。

地域連絡会の参加者は、花巻市の婦人相談員、社会福祉協議会の相談員のほかに、新たに3月から専門相談員（精神保健福祉士・社会福祉士）を委嘱し、より緊密な関係機関との連携を図っている。

開催日 2ヶ月に1回

構成メンバー：市 地域福祉課・社会福祉協議会・専門相談員（精神保健福祉士・社会福祉士）及び「花巻ママハウス」の相談員4名

第1回 地域連絡協議会

日時：2016年1月29日（金）13:30～15:00

場所：花巻ママハウス

出席者：花巻市・地域福祉課女性相談員、花巻市社会福祉協議会・課長
家計相談支援員、「花巻ママハウス」相談員2名

1. 情報交換

- ・花巻市 20数年相談対応中、母子寮がらみのケースは2件のみ。
- ・保護施設や母子寮の入所は条件が合致しないと入れない。居住地ない場合も相談は受けることになっている。
- ・保健師の訪問について、花巻市と岩手県の業務のすみ分けは？
 - 花巻市は保健センターが妊婦、出産、育児の対応。
 - 障がい者、知的障がい、精神疾患 ⇒ 花巻市障がい福祉課（1F）
県保健所も対応します。

*病院にかかる場合は、保健師が行ってくれる。

2. ケース検討

- ・ママハウス 事例3件

第2回 地域連絡協議会 記録

日 時：2016年3月11日（金）13:25～15:10

場 所：花巻ママハウス

出席者：花巻市・地域福祉課黒沼係長、女性相談員、花巻市社会福祉協議会
課長、精神保健福祉士・社会福祉士、「花巻ママハウス」相談員4名

・自己紹介

1. 情報交換

配布資料のとおり

H27.4～H28.2月 96件 報告

- ・ 来所、電話、メール相談・・・実数、延べ数は一人の案件につき、延べ数（回数）。
- ・ 1月から土日も開館しており、平日に働いている人からの相談がある。
- ・ 相談者の中には行政に係る人もおり、行政機関へ相談しに行きづらい人もいた。
- ・ 同じことをアドバイスしてもらえていいという感想をもらっている。
- ・ 相談の際には振り分けや抱え込みではなく、居場所、病院につなげつつ、方向性が決まるまで寄り添いながら包括的な相談に取り組んでいる。

◆フリースクール

- ・ NPO 未来の扉（北上市）2016.2月に設立
- ・ 中学校 タッチ登校は認められているが、高校はタッチ登校できない。
- ・ 高校はフリースクールは認められていない。
- ・ 県立杜陵高校 希望者多い。

2. ケース検討 3件

3-4 「地域連絡会」の開設について

相談者の問題や課題を共にどう改善していくか、丁寧に話を聞き、共に考えて進めていると、病院・障がい者施設との連携なくして十分な改善が図れないことを実感している。そのための地域内の各種専門機関との連携が必要であることから、2016年1月から地域連絡会を開催した。

地域連絡会の参加者は、花巻市の婦人相談員、社会福祉協議会の相談員のほかに、新たに3月から専門相談員（精神福祉士・社会福祉士）を委嘱し、より緊密な関係機関との連携を図っている。

開催日 2ヶ月に1回

構成メンバー 市 地域福祉課・社会福祉協議会・専門相談員（精神福祉士・社会福祉士）及び「花巻ママハウス」の相談員（松井・照井・藤田・若菜）

一人の相談者がいくつもの課題を抱えている。身近に障がい者の受け入れ困難等。

- ・ 施設入所や病院を転院することは、キーパーソンが誰かを把握し、相談者がその方とのやり取り

ができるよう支えることである。医療行為などは、相談室で抱え込んで解決できるものではない。

3-5 アドバイザー会議

弁護士 加藤静香氏（法律相談他）は法的観点からの助言、包括支援で先行し実績ある山屋理恵氏と吉田直美氏からは相談対応についての専門的助言を受けている。

委嘱者

- ・ 釜石ひまわり基金法律事務所 3代目所長 加藤 静 香 氏
- ・ インクルいわて 理事長 山屋 理 恵 氏
- ・ NPO 法人くらしのサポーターズ 副理事長 吉田 直 美 氏

第1回 アドバイザー会議

テーマ：借金について 日時：2015.12.

- ・ クレサラ⇒業者からの電話に出ないこと。職場に電話がかかってくるがそれはやむをえない場合もある。電話や嫌がらせがひどければ警察に相談することも必要。とにかく早く弁護士に入ってもらおう。
- ・ そのほかの消費者金融⇒「〇月〇日の〇時まで電話ください」などと言われることが多く、相談者がパニックになっているケースが多いが、「弁護士に相談してから回答します」と言って電話を切る。とにかく「払う」とか「和解する」とか「支払いを待ってください」など、債務の存在を前提とした回答をしない。とにかく早めに弁護士事務所へ相談に行くこと
- ・ クレサラ事件の必要書類は、業者からの請求書（訴訟を起こされたなら訴状。判決をとられたなら判決書）、クレジットカード、通帳、生命保険証書（解約返戻金があれば）
- ・ 以上。あとは、事務所に相談の予約を入れたときに事務の方から指示された書類を持参する。

第2回 アドバイザー会議

テーマ：DV 及び離婚相談への対応 日時：2016.1.12

- ・ DV による離婚問題を抱える層には、今後、どうしたいのかを聞き出すことのほか、別れた後、子どもの教育・暮らし等に多くの不安に対し、各種メニューをしっかりと示すことが大事。その上で先を考えられるようにしましょう。
- ・ 現在の社会福祉・諸制度の照会とともに、生活保護は恥ずかしいことではない。教育訓練も受けられるので、資格を取って、納税者となって返すことも出来ることを伝える。養育費・年金分割・財産分・婚姻分担費用・児童扶養手当等の諸制度も併せて紹介する 他。

第3回 アドバイザー会議

テーマ：労働問題について：2016年2月8日（月） 14:30～

16:00 内 容：

(1) 労働問題に関わる ADR について

- ・ ADR を利用して法的に解決しても、職場で働きにくくなり、退職するのがほとんど。この制度を利用するには、本人のメンタルがどれくらい強いかにによる。
- ・ 非常勤でも長く努めていれば雇い止めの際には正規職員の解雇と同等の合理性が求められるケースがある。
- ・ 出産後、軽い勤務になるのは仕方がない。比較・利益考慮の原理により使用者側の裁量による。但し、降格や減給は認められない、ボーナスは実際の稼働日数に関係しているのでカットされても仕方が無いこともある。
- ・ 復帰と復帰後の配置転換は事情によっては OK になる場合もある。
- ・ 産休時の給与と保障は6～7割り。例) 20万円とすると12、13万円。
- ・ 岩手県では、シングルで稼ぐのは本当に大変、企業自体の規模が大きくないため、暮らしていけない低賃金で、貯蓄もできず将来に不安を抱えている。

(2) DV

- ・ DV は子どもの発育上の問題になる。
- ・ 相談を受けたときの対応は、写真を撮る、病院へ行く（診断書など）の助言をする。離婚のことを思ってもどこまで考えているかわからない。選択肢を提供するのは相談員、決断するのは本人。
- ・ 法律相談と当団体の女性相談では役割と立場が異なるので、それぞれの役割に応じて連携をとりながら対応する。
- ・ ママハウスは、苦しさを聴くよりも結婚前はどんな仕事についていたか、収入はどうだったか、これからの人生をどう考えていたか、先を見て考えていける中味に繋げる。
- ・ 今どうしてこうなったかを気づかせる。自分の強みに気づいてもらう。自分を大切にする、子どもを大切にする。そういう選択ができる情報提供する。
- ・ 本人の語るに任せるではなく、適宜質問をどんどん投げかけていくやり方も必要。
- ・ DV で離婚の場合、その回数に関係があるかについては、あってないようなもの。1度のDVであっても、それによって妻が婚姻関係を修復できないほど夫②に対して恐怖心や不信感をもったのであれば離婚事由たり得る。
- ・ DV の証拠は必要、医者へ行くこと、診断書もらえなくても処方箋でも OK。（痛み止め、抗生物質などお薬手帳、手帳がでなければ通院明細でも OK。医療機関、警察は強い強制力をもっている。
- ・ 貧困：過去の職歴、病気、障害、発病の時期、今の既存の福祉制度につながるような聞き方をしていきたい。

第4回 アドバイザー会議

テーマ：登校拒否について

- ・ 学校への登校に拘らずフリースクールや通信教育での大学進学と言う対応もある。

- ・ 学校を辞めても道はたくさんある。無理強いはいしない。

第5回 アドバイザー会議

テーマ：離婚について 平成28年3月7日（月）13：30～15：30

① 離婚について

- ・ 女性相談に繋げる。娘が言えないものを抱えているかも知れない。無かったとしても怯えているかも知れない。行政の力が必要
- ・ 女性を一時保護するときの施設、不動産等の財産分与について、夫婦の経済力に関係なく二分の一の権利がある（よほどのことがない限り）
- ・ 相談員は弁護士からのアドバイスを相談者にすぐに伝えることが重要
- ・ 離婚事由たる別居の年数は、夫婦の婚姻期間の長さや同居期間の長さにもよるが、最近では2年で認められるケースもある。
- ・ 別居の年数は、昔は10年～20年くらいだったが、最近では2年で認められている。
- ・ 最近では子に対するDVがあっても試験的に面会交流を1回やるという流れあり（安全な状況 下で）。子が嫌がっていたら打ち切りになり、そうでない限り2回3回とつながっていく。

② DV について

- ・ 警察へ行った女性が、自宅に戻って逆恨みされ殺傷事件となるケースもある。DV相談で警察へ行く時は、そのままシェルター等へ避難することになると私物を取りに自宅に戻ることはできないので、荷物と心の準備を。
- ・ 避難場所としてのシェルターの利用は、行政を通して行う。
- ・ 相談事業の効果考えた相談。
- ・ 初回面接からすべて聞くのは尋問。信頼関係ができてからでOK。

3-6 利用者の声

- ・ 一人で思い詰めていた！
- ・ ここではゆっくり私の話を聞いてくれたので、気持ちが軽くなった。
- ・ 相談に行っても、注意が多くて帰りが辛くなるばかりだった。
- ・ 誰も私のことを分かってくれないと思った・・・。
- ・ 具体的に解決できた！

3-7 研修

① 女性相談員養成講座受講（釜石ママハウス企画）

地域の中に連帯感、信頼感が生まれ、生きづらさを生きやすさに変え、幸せに生きることができるよう、また、シングルマザーや若い女性の生き辛さを抱えるご本人の問題に合わせて、本人の課題を総合的に捉えられる相談ができることを目的とした、釜石ママハウスで主催の講座に、相談員が一部参加。

参加者アンケート

研修成果・分かったこと、見えたこと、横断的連携、

- ・ 顔の見える関係となったことで、相談ができやすくなった。
- ・ 守秘義務を順守する。
- ・ 個人情報の取り扱いに十分注意する。
- ・ まず話を聞くこと。しかし人はさまざま。相談員がいくら頑張っても満足しない人もいる。弁護士だって同じ…。
- ・ 相談者を満足させようとしなくても良い。合う人もいれば合わない人もいる。

② 相談員の職場内・外研修 (OJT、OffJT)

1) 日時 平成 27 年 9 月 7 日 10:00 ~ 15:00、氏名 松井 照井 平野 (OJT)

場 所：花巻ママハウステーマ：寄り添い型相談の考え方について 講 師：吉田直美氏

内 容：幸せ度をアップすることを目的

相談は社会的包括の視点で、受付→相談の聞き取り→アセスメント→今後の方針→関係機関へ付き添いといった流れで本人本位の支援を行うことを学んだ。

◎感想

- ・ 会社に勤務し収入を得るだけが全てじゃなく、自給自足の相互扶助の拡大の中でも幸福感を見つける事ができることに素晴らしさを感じた。松井
- ・ マネー資本主義が人間存在のイコールになってはいけない。伴走型の支援につなげていきたい。相談をうける際、支援メニューの整理と整備をしておく必要があると感じた。照井
- ・ 社会福祉の知識等も少しずつ身につけながら精進していきたい。平野

2) 日時 平成 27 年 9 月 15 日 10:00 ~ 16:00 松井 照井

場 所：いわて情報交換センター アイーナ 803 会議室

テーマ：福祉ネットワーク構築に向けた課題講 師：KT

福祉研究所 松藤和生氏内 容・社会福祉の定義・範囲・

特性

- ・ 戦後福祉の流れの中で
- ・ 福祉改革の 4 本柱
- ・ 社会福祉の動向

◎感想

- ・ 福祉の根源（英国は教育が主 日本は公的扶助生活保護）親の無知や生保に対する間違っただけの考えが子の将来を閉ざしている。改めて教育の大切さを考えさせられた。福祉を教育と考える様にならないければ真の福祉ではないという言葉が心に残った。自分自身もどんな資源が何処にあるか学び、情報収集しながら業務にいかしたい。松井

- ・問題は多々あるが、まずは自分が出来ることから始めたい。講師から指摘があった現代日本人に象徴される機器のみでつながっている仮想ネットワークではなく、人と人とが繋つながらること、専門機関とつながるネットワークの構築を心がけていきたい。 照井

3) 日時 平成27年10月28日 11:00～16:00 照井

場 所：北上市勤労者体育センター管理棟 中ホール A テーマ：家庭生活支援員養成講座

講 師：飯豊保育園副園長 小田島智子氏

北上市健康福祉課母子保健係 主任保健師 菅原菜保子氏

内 容・保育の心・子どもの世話

- ・乳幼児期の子どもの心身の発達にみられる特徴・生活環境が子の脳や身体発達に及ぼす影響

◎感想

実際にどのようなところに配慮し気をつけたら良い関係を築き上げることができるかなどを専門職の立場から見解をお聞きしたかった。

4) 平成27年11月11日 9:30～16:30 照井

場 所：北上市勤労者体育センター管理棟 中ホール A

テーマ：家庭生活支援員養成講習（3日目）

講 師：岩手県立中部病院救急センター救急看護認定看護師 中村舞氏

岩手県立中部病院小児病棟 看護師 佐藤 育恵氏

北上消防組合 救命救急士

内 容・子どもの事故と応急手当、子どもの健康、子どもの病気と簡単な看護、緊急時の対応と応急処置

◎感想

自分なりの症状や対応手帳を作り、実践に役立てられるよう準備しておいてもよいと思った。子どもは疲れる症状に出やすく、ストレス性のもも増加しているという。まじめな子や頑張りやほどその傾向が強く、大人が鬱になる場合と同じく、身近に寄り添ってくれる人との関わりが大切だと感じた。

5) 平成27年11月16日 10:00～15:30 照井

場 所：北上市生涯学習センター3F

テーマ：家庭生活支援員養成講座（4日目）

講 師：管理栄養士 狩野和子氏

北上市ファミリーサポートセンターアドバイザー 秋山郁子氏 開田美樹氏

内 容・幼児期・学童期の食事（調理実習含む）

- ・現代の子育て事業

◎感想

講座の中で調理実習があったのは受講生の親睦を図るためにもとても良かった。小さい子に心の温かさが伝わる食事は大切だ。午後北上のファミリーサポートセンターの利用状況の説明があった。上手く

運営する上で気をつけていることは、相互援助精神を基にルールに縛られ過ぎないようにすること、定期的に研修を設けること、会員同士の交流を図るため年1回イベントを企画実施すること。

当事業所でもぜひ参考にしたい。

6) 平成 27 年 11 月 25 日 9:30 ~ 16:30 照井

場 所：北上市勤労者体育センター

テーマ：家庭生活支援養成講座（5日目）

講 師：大通り保育園 園長菊池八千代氏

岩手県母子寡婦福祉連合会

弁護士 鈴木 真実氏

内 容・子育て支援の現状、子育て支援の対応と実践

- ・研修のまとめ、支援員登録
- ・セミナー（養育費ほか）
- ・就業に関する諸制度についての情報提供

◎感想

食事で悩む母が多く献立を参考に料理している人もいるとのこと。子どもの情緒を育てるにはゆったりとした童謡が適しているため、若い保育士が選ぶ今流行の早いテンポの曲を危惧している現状がある。子どもの成長には環境の影響が大きく関与する。20%は本人の資質、80%が環境の影響を受けるといふ。大人が子に与える影響の大きさを認識し、同じ影響でも良い影響を与えられるようにしたい。

7) 平成 27 年 12 年 22 日 (火) 10:00 ~ 15:00 氏名 松井 照井

場 所：釜石市保健福祉センターテーマ：女性相談員養成講座

講 師：釜石ひまわり基金法律事務所 弁護士 加藤 静香氏

内 容・相談を受けるときの心構え

- ・相談内容ごとの対応方法と各種制度について

◎感想

相談者の思いに満足いくように応えたいという思いが頭をもたげるが、専門家の立場から相談者の気持ちに添えなくてもよく、割り切りが必要な場合もあることを学んだ。頂いたレジメは簡単に整理されていてとてもわかり易かったし、事例を交えての説明で参加できてよかった。

8) 平成 28 年 2 月 17 日 13:00 ~ 16:00 藤田

場 所：アイーナ 6階

テーマ：不登校・引きこもり・ニート 子どもの心と向き合うために

講 師：教育研究所 理事長 牟田武生氏内 容・基調講演 牟田武生氏

- ・パネルディスカッション

① 岩手県精神保健福祉センターの紹介と岩手県引きこもり支援センターの活動状況

② もりおかいわて若者サポートステーション

③ 盛岡ユースセンター（フリースクール）

◎感想

最近の不登校の実態・その背景と社会的な傾向の分析結果など説得力ある内容だった。子どもや若者に現れる兆候を早期発見 早期対応することの重要性を感じた。研修後盛岡ユースセンターで内容の詳細を知ることができ実りある研修となった。

4. 子育て・家事支援サポーター派遣事業

4-1 事業内容と目的

〔育児経験等のあるサポーターによる支援〕

*実家が遠い、ご近所に子育て家庭がない、相談したり、頼めるママ友がない・・・など、子育てが孤立した厳しい状況のママ。そんな時に、体調不調などで、個人で奮闘するも限界が生じます。そこで、子育て経験者などが、実家のママ的な役割を以てサポートするシステムとして企画実施した。

*仕事が立て込んで、子どもを保育所・学童保育に迎えに行けないので、代わって迎えに行つて、家に帰るまで子供を見てほしい、母親の体調が悪く家事ができない等のために、サポートするシステムとして、「妊産婦等子育て・家事支援事業」を運営。

4-2 子育て・家事支援事業の周知

①妊産婦等子育て・家事支援サポーター事業

説明会開催 10月28日(水) 9:00-11:00

◇ 電話・メール作戦を行う。

◇ 友人・知人に声かけ

◇ チラシを届ける作戦

市内には、市（保健センター・図書館ほか）、社会福祉協議会、NPO等団体（糸電話・花巻ボランティア連絡協議会・女性センターを実現する会・女性団体ネットワークの会）、宮の目保育園他各保育園及び、幼稚園にチラシと手作りポスター持参で事業のご案内を行った。

独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業

妊産婦等 子育て・家事支援
サポーター派遣事業

特定非営利活動法人 母と子の虹の架け橋
「花巻ママハウス」

「妊産婦等子育て・家事支援サポーター派遣事業」とは

産前・産後等で体調不良のため、育児や家事が困難なお母さんのいる家庭にサポーターを派遣し、援助をすることで、お母さんの精神的・肉体的負担を軽減するサービスです。

「花巻ママハウス」の家事支援サポーターがご自宅へ訪問し、援助を行います

利用者

花巻市や宮の目にお住まいの方で、日中に家族等から援助を受けられず支援が必要な方

サービス内容
事前に「花巻ママハウス」のコーディネーターがお宅へ訪問して利用者の皆様と打ち合わせの上、提供するサービスを決定します。なお、サービスの内容は日常生活にかかわる範囲とします。

※出生したお子さんの保育は対象となりません

サービス内容	提 供 例
簡単な食事の支援・下準備	家族の食事の支援(来客者の応接等は不可)
衣類の洗濯	家族の衣類等の洗濯
居室の掃除・整理整頓	日常的な掃除
もくろの補助	準備や満足し、片付け、子を受け取る等
食材や生活用品の買物	生活必需品の買物(徒歩圏内)
上の子の世話	上の子の遊び相手(外に出る場合は1人に限る)
上の子の送迎	保育園等への送迎 遠方の場合は、できないことがあります
健診等の付添い	他 1ヶ月健診、通院等の同行

利用について

◎利用時間 毎年末年始(12月29日～1月3日)を除き午前8時～午後7時のうち、1時間単位で1日4時間まで、(1日の派遣回数は2回までです。)

◎利用料金

1時間につき500円。ただし、利用時間が1時間未満な場合も1時間利用の扱いとなります。料金は訪問したサポーターに直接お支払いください。

※ 買い物、送迎等で交通費がかかる場合は、実費を負担していただきます。

協賛：花巻市・花巻市教育委員会・花巻市社会福祉協議会

市外では、岩手県社協（女性相談のチラシ含む）、盛岡女性センター（女性相談のチラシ含む）、県男女共同参画センター（女性相談のチラシ含む）のほか、以下に配布。

- ・ コミュニティー会議・保育所
- ・ 民生委員さん方・地域福祉課にてご案内
- ・ 小瀬川新聞店の記事掲載依頼
- ・ 朝日新聞販売店作成の“風街通信”に記事掲載
- ・ 岩手日報新聞に折り込み
- ・ ポスティング
- ・ はなまき FM の活用

4-3 サポーター募集について

子育て・家事サポーターさんの応募の動機を聞く。

- ・ 子供も成長して、空いている時間を何か有効に使いたい。
- ・ 子どもが好きだから
- ・ 子育て経験を生かしたい
- ・ 子育てしている人の援助をしたい

【何ができますか？】

- ・ 保育所の開始前や終了後の子供を見る
- ・ 学校の放課後や学童保育終了後、子供を見る。
- ・ 保護者等の病気や急用等の場合に子供を見る
- ・ 冠婚葬祭や他の子供の学校行事の際、子供を見る
- ・ 買い物等外出の際、子供を見る
- ・ 健診などの付き添いができる
- ・ 衣類の洗濯、居室の整理・片付けなどができる

申し込みから利用までの流れ

妊産婦等子育て・家事支援サポーター派遣事業を利用しようとする者は、子育て・家事支援サポーター事業利用申請書(第1号様式)により「花巻ママハウス」に申請するものとする。

<http://hanamaki-mamahouse.jimdo.com/>

花巻ママハウスより利用者へ電話し、コーディネーター訪問の日程を調整します。

↓

利用者宅にコーディネーターが訪問。

↓

利用者が「花巻ママハウス」へ利用日、時間等を予約(利用希望日の3日前までに電話にて予約)。
※原則休業日を除いた3日前となります

↓

サービス利用

こんな時にご利用ください

「つわりがひどい」
「切迫流産、早産のさざしがあり安静が必要」
「出産後の体力に自信がない」
「一人でもく済ませるのが不安」
「この日は仕事が多くなるので、子どもを連れに行ってほしい。」
「食事の支度をして欲しい。」
「尿尿の掃除・洗濯などしてほしい」
「食材又は生活必需品の買い物をして欲しい」他

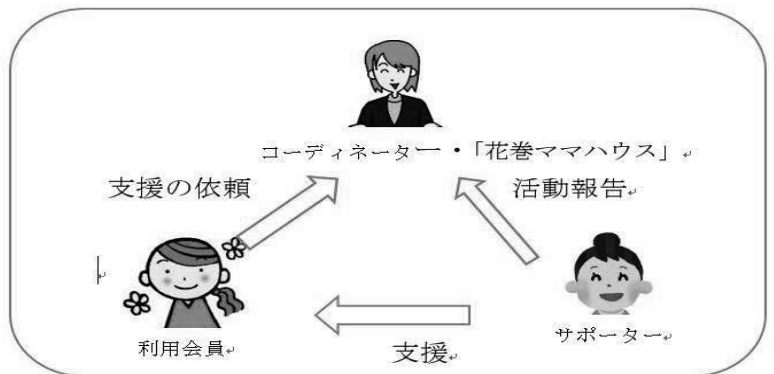
利用される方へのお願い

●花巻ママハウスは、コーディネーターを派遣し、サービスの内容を協議し、相互に確認します。
●子育て・家事支援サポーターの派遣回数1日につき2回程度(出生した子の兄弟が複数いるご家庭で、保育園・学童保育などのお迎えは、1日につき4回以内)とし、利用時間は1時間単位とする。
●利用時間は1時間単位とする(1時間未満の端数があるときは、端数は1時間とみなします)。
●「花巻ママハウス」に利用希望日の3日前までに、直接電話で予約して下さい。
●利用者は、1時間につき500円の利用料をサポーターに支払います。
●利用者が利用日の前日の午後5時に到達する前までに取り消した場合は、取消料は無料です。しかし、利用日の前日の午後5時以降及び当日に取り消した場合の取消料は500円となります。

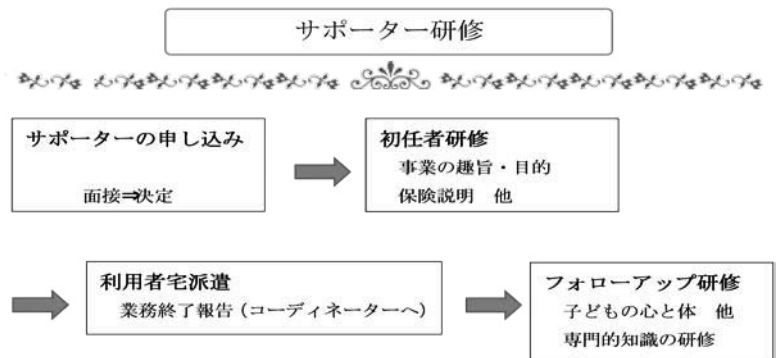
利用会員(サポーターの派遣を受けたい方・利用料は、1時間 500円)登録会員(サポーターとして、支援することを希望の方) 料金は、1時間 1000円

募集中!

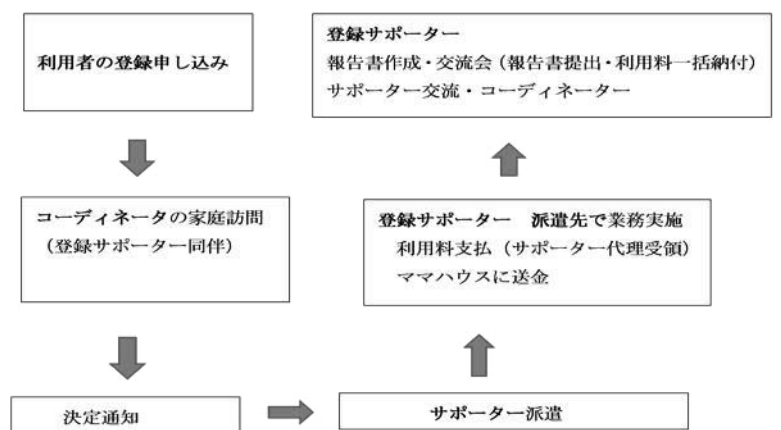
高倉 幸子 代表 「花巻ママハウス」
〒025-0062 花巻市上小舟渡272-1.8 ☎0198-29-6800
Mail: hanamaki.mamahouse@gmail.com
URL: <http://hanamaki-mamahouse.jimdo.com/> [ホームページ]
<http://www.facebook.com/mamahouse.hanamaki> (フェイスブック)



1. 申し込みから業務開始までの流れ



2. 子育て・家事サポーターの事務フロー



4-4 利用料

1 時間 500 円を利用者が負担。サポーターには「花巻ママハウス」から、500 円を含めて、1 時間 1,000 円支払う。

4-5 傷害保険・賠償責任保険の加入

有ってはならないが事故等の不測の事態への対応として、一般財団法人女性労働協会を窓口以下に以下の保険に加入している。

保険加入期間：2015. 12. 1 - 2016. 5. 1 まで

対 象 者：子ども・サポーター

幹事保険会社：東京海上日動火災保険株式会社

4-6 広報活動

この事業は今年度が初めての事業であることから、市民および花巻市周辺住民に広く知っていただくために、事業開始前（11 月）に次のとおりの広報活動を行った。子育て・家事支援サポーター派遣事業のチラシを利用し手作りポスターを作成し市内保育所・幼稚園にポスターの張り出し依頼のほか、“エフエム花巻”にも広報のための放送を依頼した。また、学童施設・行政機関・医療機関・各地区の振興センター・商業店舗での掲示・新聞への折込チラシ、ポスティング、ホームページへの掲載を行った。

ほとんどの依頼先では協力的で受け入れが良かった。医療機関や商業店舗では時期的な事情や有料である点において難色を示すところもいくつかあった。周知媒体結果は以下のとおりである。

区 分	登録者数	折込チラシ	行政機関を通じて	知人	来所の際
サポーター	20名	2名	2名	15名	1名
利 用 者	8名	2名	1名	1名	4名

他に、事故対応に支障のないよう、財団法人女性労働協会の保険に加入した。万全の対応を各方面のご協力いただいても、中々、利用登録やサポーター登録が進まなかった。家庭派遣への心理的な抵抗感かと思うが、関係機関等からは、浸透には時間がかかるとの助言を頂いた。

4-7 サポーター養成講座

この事業を継続的に展開し利用者およびサポーターの活動内容を充実させ、子育て・家事支援のスキルアップを図るために、次の取り組みを行った。

① 事業説明会


11 月、広く関心のある方、サポーター、利用者を希望する方々を対象に事業説明会を行った。

② サポーター養成講座

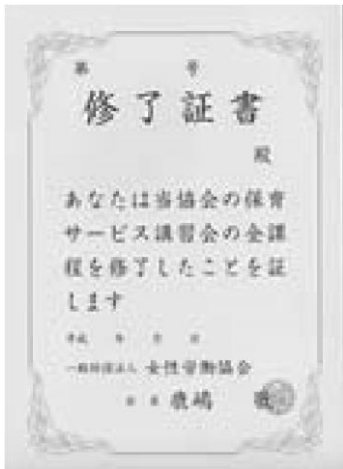
初回研修として1月から2月の計7日間にわたるサポーター養成講座を開催した。現代の家庭をとりまく状況はさまざまである。子育ておよび家事支援の活動を行うにあたり、支援活動が信頼されより良いサービスを提供するため、法律、医療、福祉、食育、保育、消防の各分野の専門家の方々を講師に招き研修を行った。またこの講座は一般財団法人女性労働協会の子育て支援プログラムに準じたものである。

以下が、養成講座のアンケート結果である。全課程の修了者で、一般財団法人の修了証の交付者は3名であった。不足の科目は次年度の履修を予定している。

独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業
「子育て・家事支援サポーター養成講座」
 サポーターの方、サポーターを志す方、子育てを学びたい方も受講できます。
 協賛：花巻市・花巻市教育委員会・花巻市社会福祉協議会



日程	時間	講師	講座等内容
1月18日 (月)	10:00~12:00	高橋 恵美 保育士	子どもの遊び ・成長に応じた遊びと接し方 ・絵本・読み聞かせのコツ ・身近なおもちゃの作り方 他
1月18日 (月)	13:00~16:00	加藤 静香 弁護士 若菜 多摩 理事長	事業を円滑に進めるために ・サポーターが気を付けるべき一般的な注意事項 ・想定される事故の種類と対応方法 ・子育て及び家事サポーター事業の業務の流れ ・損失補償・損害賠償保険について
1月19日 (火)	10:00~12:00	高橋 久美子 保健師	子どもの世話 ・子どものケアと援助 ・褒めること叱ること 他
1月19日 (火)	13:00~16:00	狩野和子 管理栄養士	食が育む子育て ・乳児食・幼児食について ・食育について ・おやつ作り
1月21日 (木)	13:30~15:00	川崎 治 小児科医	身体の発達と病気 ・子どもの成長と発達について ・子どもの病気について
1月25日 (月)	10:00~12:00	中村 湖帆 保育士	保育の心 ・現代に置ける育児支援とは ・育児サポートに取り組むに当たっての留意
1月26日 (火)	10:00~15:00 (12:00~13:00休憩)	高橋 久美子 保健師	小児看護の基礎知識 ・子どもに良く見られる症状と対処法 ・子どもの虐待について
2月 1日 (月)	10:00~11:00 11:00~12:00 13:00~16:00	花巻市消防本部 高橋貴久 救命救急士 高橋 久美子 保健師 高橋 岳志 社会福祉士 精神保健福祉士	安全と事故 ・人工マッサージと人工呼吸 ・誤飲の予防と怪我の処置他 心の発達・・パート1 ・愛着形成について、自己有用感、 ・受容・共感
2月2日 (火)	10:00~11:00 11:00~12:00	高橋 岳志 社会福祉士 精神保健福祉士	心の発達・・パート2 ・発達の遅れ 修了式(修了証交付) ・交流会



お申し込みは、電話もしくはFAX・メールで お願いします。 会場：花巻市 学び学園
 申込み先：「花巻ママハウス」 ☎ FAX 0198-29-6800
 Mail : hanamaki.mamahouse@gmail.com 花巻市上小舟沢272-1. 8

お名前	電話番号	お名前	電話番号

養成講座 アンケート集計

1月18日(月)《子どもの遊び》高橋 恵美先生 (10名回答)

とても満足	9	役立つ情報が得られた	9	役立つ情報が得られなかった	0
満足	1	スキルアップにつながった	6	スキルアップにつながらなかった	0
やや不満足	0	他の受講者との交流・情報交換が出来た	6	他の受講者との交流・情報交換が出来なかった	0
不満足	0	抱えていた問題・不安の解消につながった	1	抱えていた問題・不安の解消につながらなかった	0

☆手軽な(身近なものの)おもちゃ作りが良いと思った。 ☆(月齢による)成長段階の特徴が役立った。 ☆楽しく、役立つ情報がいっぱいあった。
 ☆保育士だからその視点からの話が聞けてよかった。
 Q.もっと手軽なおもちゃ作りを聞いてみたいと思った。年齢に応じた遊びを詳しく知りたかった。

1月18日(月)《事業を円滑に進めるために》加藤 静香先生 (10名回答)

とても満足	8	役立つ情報が得られた	8	役立つ情報が得られなかった	0
満足	2	スキルアップにつながった	5	スキルアップにつながらなかった	0
やや不満足	0	他の受講者との交流・情報交換が出来た	0	他の受講者との交流・情報交換が出来なかった	0
不満足	0	抱えていた問題・不安の解消につながった	2	抱えていた問題・不安の解消につながらなかった	0

☆具体的な事例を取り入れてくれることで、法律の中味を理解することが出来た。
 ☆普段知りえない(生活の中でも役立ちそうな)情報を知ることが出来た。
 ☆気の遣い方、活動の考え方がわかった。☆
 ・実際の場面にならないとわからないこともあるので、その時お聞きしたい。・サポーター事業のいろいろな事例を資料として欲しい。

1月18日(月)《事業を円滑に進めるために》理事長 若菜 多摩英 (10名回答)

とても満足	4	役立つ情報が得られた	7	役立つ情報が得られなかった	0
満足	5	スキルアップにつながった	2	スキルアップにつながらなかった	0
やや不満足	1	他の受講者との交流・情報交換が出来た	0	他の受講者との交流・情報交換が出来なかった	0
不満足	0	抱えていた問題・不安の解消につながった	1	抱えていた問題・不安の解消につながらなかった	0

☆損害賠償保険について学ぶことができた。☆花巻市の子育ての家庭のデータ、統計で現状を知ることが出来、役立つと思った。

☆サポーターとしての役割が明確になってよかった。いろいろな時の対応の優先順位もわかってよかった。

1月19日(火)《子どもの世話》高橋 久美子先生 (5名回答)

とても満足	5	役立つ情報が得られた	4	役立つ情報が得られなかった	0
満足	0	スキルアップにつながった	5	スキルアップにつながらなかった	0
やや不満足	0	他の受講者との交流・情報交換が出来た	4	他の受講者との交流・情報交換が出来なかった	0
不満足	0	抱えていた問題・不安の解消につながった	1	抱えていた問題・不安の解消につながらなかった	0

☆いろいろな事例や考え方を聞けて、とても参考になった。他の方の体験もとても興味深く聞いた。

Q.自分が子育てしていた頃と今では全く違うことがわかり、関心がある。またいろいろ聞いてみたい。

1月19日(火)《食が育む子育て》狩野 和子先生 (7名回答)

とても満足	6	役立つ情報が得られた	7	役立つ情報が得られなかった	0
満足	1	スキルアップにつながった	5	スキルアップにつながらなかった	0
やや不満足	0	他の受講者との交流・情報交換が出来た	3	他の受講者との交流・情報交換が出来なかった	0
不満足	0	抱えていた問題・不安の解消につながった	0	抱えていた問題・不安の解消につながらなかった	0

Q.アトピー性皮膚炎と食物アレルギーの関係を知りたい。もっといろいろ簡単に出来る料理を知りたい。料理教室も受けてみたい。

☆お話しも上手で楽しく、資料に載っていないお話も興味深かった。またぜひ聞きたい。

1月21日(木)《身体に発達と病気》川嶋 治先生 (8名回答)

とても満足	7	役立つ情報が得られた	7	役立つ情報が得られなかった	0
満足	1	スキルアップにつながった	6	スキルアップにつながらなかった	0
やや不満足	0	他の受講者との交流・情報交換が出来た	0	他の受講者との交流・情報交換が出来なかった	0
不満足	0	抱えていた問題・不安の解消につながった	1	抱えていた問題・不安の解消につながらなかった	0

☆子育て中なので、先生のお話を聞いて大変よかった。わかりやすく、とても楽しかった。

☆自分の子育て期とは変わっていることも多く、新しい知識が得られた。

☆大人でもワクチン接種が大切だと学んだ。

1月25日(月)《保育の心》中村 湖帆先生 (11名回答)

とても満足	9	役立つ情報が得られた	9	役立つ情報が得られなかった	0
満足	2	スキルアップにつながった	9	スキルアップにつながらなかった	0
やや不満足	0	他の受講者との交流・情報交換が出来た	7	他の受講者との交流・情報交換が出来なかった	0
不満足	0	抱えていた問題・不安の解消につながった	2	抱えていた問題・不安の解消につながらなかった	0

☆先生の体験談が豊富でよかった。共感できることが多かった。☆グッズや雑誌を利用した講座はとても実践的で良かった。

☆今と昔の子育て比較、現代の情報収集など参考になった。☆どんなにグッズが進化しても、保育の心は今も昔も変わらないと思った。

☆手遊び、今の育児の仕方が学べた。☆保育の心構えを学べた。☆サポーター同士が和やかに話できた。

☆10年前と比べて便利なものがたくさんあり、ついていけないと感じた。☆昔の子育てでは無理。

1月26日(火)《小児看護の基礎知識》高橋 久美子先生 (5名回答)

とても満足	4	役立つ情報が得られた	5	役立つ情報が得られなかった	0
満足	1	スキルアップにつながった	5	スキルアップにつながらなかった	0
やや不満足	0	他の受講者との交流・情報交換が出来た	4	他の受講者との交流・情報交換が出来なかった	0
不満足	0	抱えていた問題・不安の解消につながった	1	抱えていた問題・不安の解消につながらなかった	0

☆傷の治療、火傷の処置はとても参考になった。最新の処置方法を知ることが出来た。

☆内容が濃く、たくさん話が聞けて楽しく学習できた。☆サポーターとの交流が前回より出来た。

☆子どもの病気は忘れていたことが多くあったので、今回学べてよかった。☆最近の子育て事情、子どもを取り巻く環境がわかった気がします。

2月1日(月)《安全と事故》花巻市消防本部 (8名回答)

とても満足	6	役立つ情報が得られた	7	役立つ情報が得られなかった	0
満足	2	スキルアップにつながった	7	スキルアップにつながらなかった	0
やや不満足	0	他の受講者との交流・情報交換が出来た	2	他の受講者との交流・情報交換が出来なかった	0
不満足	0	抱えていた問題・不安の解消につながった	4	抱えていた問題・不安の解消につながらなかった	1

☆具体的な例を上げて説明いただいた

☆想像以上に危険が身近にあることを知った

☆誤飲の具体例などよくわかった

☆救助の方の現場の話が聞けてよかった

☆話がわかりやすく もっと聞きたかった

☆実際の救命処置を教えて貰えると思っていたのでびっくりした⇒第2回サポーター交流会で、実技をしていただき、研修を補強した。

2月1日(月)《安全と事故》高橋 久美子先生 (8名回答)

とても満足	2	役立つ情報が得られた	7	役立つ情報が得られなかった	0
満足	6	スキルアップにつながった	4	スキルアップにつながらなかった	0
やや不満足	0	他の受講者との交流・情報交換が出来た	1	他の受講者との交流・情報交換が出来なかった	0
不満足	0	抱えていた問題・不安の解消につながった	0	抱えていた問題・不安の解消につながらなかった	0

☆保健師としての説明がとても良かった

☆救急の話とのつながりでわかりやすかった

2月2日(火)《心の発達》高橋 岳志先生 (5名回答)

☆ケガの処置を聞いたかった

☆ちよっと声が小さく聞こえにくかった

2月1日(月)《心の発達》高橋 岳志先生 (5名回答)					
とても満足	5	役立つ情報が得られた	5	役立つ情報が得られなかった	0
満足	0	スキルアップにつながった	4	スキルアップにつながらなかった	0
やや不満足	0	他の受講者との交流・情報交換が出来た	3	他の受講者との交流・情報交換が出来なかった	0
不満足	0	抱えていた問題・不安の解消につながった	1	抱えていた問題・不安の解消につながらなかった	0
☆1歳半までの母親の存在の大きさに気付いた					
☆「I am OK」、ストレス耐性など自分に教えておきたい言葉をたくさん知ることができた					
☆支援者としての心構えを学べた					
☆人として生きるこの意味やこれからの生き方を学べた					
☆わかりやすく興味深いお話で大変楽しく聞けた					
☆乳幼児～学童期～の心理や対応・支援のことを学べた					
☆家庭での子どもと親の関わり方で乳幼児期からが大切なのだとわかった					
2月2日(火)《心の発達》高橋 岳志先生 (5名回答)					
とても満足	4	役立つ情報が得られた	5	役立つ情報が得られなかった	0
満足	1	スキルアップにつながった	5	スキルアップにつながらなかった	0
やや不満足	0	他の受講者との交流・情報交換が出来た	3	他の受講者との交流・情報交換が出来なかった	0
不満足	0	抱えていた問題・不安の解消につながった	2	抱えていた問題・不安の解消につながらなかった	0
☆マズローの表ですが、我が子を見ていると承認欲求の部分を欠いたまま、自己実現しているように思います。そう育ててしまったのは自分だと、悔やんでばかりの最近です。そのような子に自分を形容するバッジをあげるにはどうすればいいのだろうか。					
☆今日は1時間の講座だったのでもう少し話を聞きたかった。					
☆コミュニケーションの大切さを学べた。					
☆自分自身もまだまだ成長しないと思った。					
☆子どもを一人の個人として思い、言葉をかける、寄り添うことの大切さを再認識した。					

課題

養成講座開始にあたり、講師の依頼とスケジュール調整、場所の確保、開催時期（降雪の時期）など十分な準備期間を設け早めにとりかかることが望まれる。

4-8 サポーター活動報告交流会

登録していただいているサポーターに、一ヶ月間の活動報告とサポーター同士が学びあい、情報交換ができる場として月1回（原則、第2火曜日）に開催している。

①第1回交流会 2016.1.12

- ・ サポーター養成講座以外もいろいろな講座を行ってほしい。
- ・ サポーターに必要な知識のための内容でも良いですし、精神的な母子のことも講座もあってよいと思います。（これからも増えてくる精神的な内容の講座（鬱、母子、病弱など）
- ・ 活動の場が広がればよいと思います。
- ・ 利用者さんが増えることを願っています。
- ・ お母さん方に気軽に尋ねられる「ママハウス」という所があることを、もっと知っていただけると良いと思います。

サポーターアンケート

- | | |
|------------------------|---|
| ・ 役に立つ情報が得られた | 2 |
| ・ 他の参加者との交流・情報交換が図られた。 | 3 |
| ・ 抱えていた問題・不安の解消につながった | 1 |
| ・ リフレッシュできた | 1 |

利用者の声（アンケート）

- ・ 急な通院に対処してもらえてよかった！
- ・ 生理時などで子供と遊ぶことが辛い。こんな時も OK なのですね。・・・

②第 2 回交流会 206.3.15 (火)

場 所：まなび学園 3F 女性活動室参加者：11名

内 容：今回は先の消防士の講習では、人形を使った実技が無かったことから、サポーターの養成で 1 時間、実技講習を実施した。

1. 救急救命講習会 花巻市消防本部 藤原氏、阿部氏

花巻市消防本部が用意した「応急手当講習テキスト」に従って、心肺蘇生の必要性について、体で覚える実践型心肺蘇生に取り組んだ。子どもは特に呼吸停止が死に直結するので心肺蘇生は非常に重要。大人も大事なことであるが、さらに重要である。乳幼児の家庭における事故防止対策は、コインなど口にいたりするものを置かない、大人が使用するものを近くにおかないこと。緊急の状態のときはすぐに 119 番通報をする。すぐ連絡がある場合には消防署員がかけつける。時間が経ってからだと、警察が現場にいき事情聴取をすることになる。



救急救命士の導入は日本では平成5年から始まった。消防署員の救急救命士割合は花巻市が一番多い。救急救命士の役割が拡大した。酸素確保の管をいれる資格も増えた。心臓を強くする点滴をすることも可能。処置して搬送ができる。

- ・ 心肺蘇生の基本・・・30回マッサージ 2回人口呼吸、2分間継続
- ・ 乳児、幼児用の人形を使って、2つのグループに分かれ消防署員から指導を受けた。
- ・ 心肺蘇生はあくまでも心臓が動いていないことを確認して行うもの。
- ・ では、脳溢血の場合はどのようにするか？→心臓は動いているので、心肺蘇生は対象外。おう吐物で窒息しないような姿勢にしてあげる。手順は①脚を手前に引き寄せる、②このことで腰がまわる、③腕をもってくる。④おう吐物が流れるように腕に頭がのるようにする。
- ・ 現在は、人口呼吸は重要視されなくなっている。救護するのに病気もらったら…という懸念もあり、心臓マッサージで OK という考えになっている。



<所感>

- ・ 参加したサポーターのみなさんがとても積極的に講習会に参加していた。実技では消防署員の親しみやすい説明や実演の仕方も助けになって、始終和やかで和気藹々した中で実習できてよかったと思う。
- ・ 心肺蘇生といっても時代によって対処方法が変化していることもとても参考になった。

意見交換

<サポーターより>

- ・ 明日、初めての活動を行うが、食事作りは何人分で誰のものか？ 母は不在状態なのかなど確認したいことが出てきた。
- ・ 食事作りは家庭の味つけあると思うので行う前に確認して作業に入りたいと思う。ママハウスに頼まれたので笑顔でありがとうございましたと言えるようにしたい。
- ・ 花巻のファミリーサポートセンターにも登録している。頻繁に依頼がある。自宅でお子さんを預かるので自宅の家事をやりながらお世話ができるのでやりやすい。今までの最長の時間は 7:30-17:30 までだった。
- ・ 介護士の若いママさん、時間で区切られていた方がいいのではないかな。北上市に浸透していないのではないかな。浸透させれば助かるママもいるのではないかな。
- ・ 介護施設の施設長に家事支援サービスのことを話した。素晴らしいと称賛。PR できればいいと思っている。保育所が協力的であれば、保育所閉所後も利用可能であると情報提供してはどうか。

<課題>

- ・ 祝日に1日預けたいという要望に対し、ママハウスは4時間が最大。家事支援サービスを使えない。もう少し柔軟性が有れば利用者が増えるのではないかな？
- ・ ママハウスの家事支援は拘束時間とガソリン代が入って 1000 円（時給）。ファミリーサポートセンターは保育園に迎えに行き自宅へ連れてきてみている。利用者からすると、ファミリーサポートセンターの方が利用しやすいのでは？
- ・ 急なこと（熱が出た、今日預けたい、急用ができ子どもを見てほしいなど）に対応できる内容にする必要があるのではないかな。「3日前までに」というのが利用しにくいのではないかな。・ ・原則であり、前日対応もしていることを会場で説明。

<ママハウスより>

- ・ 「3日前までに」については、原則であり、前日対応もしていることを会場で説明。
- ・ 現在の利用者（19名）とサポーター登録（20名）であることを報告。
- ・ 紫波町より利用問い合わせがあったこと。その後、紫波町には事業の案内をさせていただいた。

4-9 “まんまるママいわて” との連携

まんまるの代表から講演会開催にあたり、託児の受け入れ先が無く困っているとの相談を受け、「花巻ママハウス」の自主事業として一時預かりを受け入れた。本来1時間1000円であるが、予算がないとのことで、まんまるの予算範囲内の協力とし、5000円で受託。

開催日時：平成28年2月21日（日） 9：30～12：30

開催場所：花北振興センター・ホール 和室

サポーター氏名 参加者9名

託児数と年齢

1才未満児	2名	4歳児	1名
1才児	2名	5歳児	1名

2歳児	3名	合計	9名
-----	----	----	----

タイムスケジュール

9：30～9：40	託児内容の説明
9：40～12：30	託児保育
12：30	謝礼その他の説明

◎感想

サポーターが、一人ひとりが自分の業務に責任を持ち積極的に取り組んでくれた。最初は母親と離れた不安から泣き出す子も多かったが、次第に落ち着いていった過程を身近で見、子育て経験者の力量を感じた。1月に開催された養成講座の研修が役立ったとも思われる。最後まで泣き止まない子へは協力しながら対応してくれ、サポーター同士の関係性もとても良かった。怪我や事故無く無事終わることができたことに安堵している。

- ・ やってみて楽しかった。
- ・ サポーターの方々の対応が上手だった。
- ・ 母と離れ寂しくなったとき、自分を担当してくれるサポーターの存在とママの存在を見分けることを子供の反応から伺えた。短い時間の中で、仮ママをみわける能力あって驚いた。
- ・ 困っている時、周りのスタッフもみてくれた。2歳児の女の子だったが、そのうちママを思い出して探し始めた。抱っこして周辺を歩いているうちに満足した。
- ・ ずっと泣いていた子だった。大変だった。ママじゃないとだめな子。徐々に諦める子もいるけど、あきらめない子。周りのサポーター協力してもらって助かった。3時間なきっぱなし。
- ・ 父と母が2人で子どもを連れてきたが、いきなりいなくなった。最初は興味あるおもちゃで遊んだけど、気が付いたときから泣きっぱなし。フロアまわって気を紛らわすなど工夫した。大部屋でほかの子と交わるのは苦手みたい。周辺をぐるぐるまわっていた。→別れのセレモニーが必要かも？
- ・ 両親が戻るのを我慢してまっている子。ここにいるの？って何度も聞いた。子どもにとっては長い時間だった。

ママへのアンケート結果 (回収 4名)

★良かったこと

- ・ 子どもがつかれ泣きした時に対応してくださいました。ありがとうございました。
- ・ 息子にしっかり寄り添っていただけたこと。
- ・ ママハウスのスタッフの方はしっかりお勉強されていて、更に雰囲気もよくて子どもも楽しそうでした。
- ・ 途中見に行っても丁寧に対応してくれてとても嬉しかったです。これからもよろしくお願ひします。
- ・ 預けていた際の様子が聞けたこと。

★反省点

- ・ 保護者から子どもを預かった後、年齢や子どものタイプを考慮した上で、終始1対1で預からずとも一緒に遊べる状態への導入が可能かもしれない。
- ・ サポーターの集合時間を伝えてはあったが、時間に遅れて来るサポーターもあり託児内容の説明が繰り返しになった。説明開始時間を明記した上で、集合時間厳守の徹底を図る必要がある。
- ・ サポーターの名前がわかるよう名前テープを付ける。
- ・ 初めての活動依頼があったが、下痢や嘔吐を想定し、使い捨てマスクや手袋の準備、子どもの手洗いなどの液体せっけんなど、事前の確認や準備作業を行ったものの、スタッフには当日まで不安が残った。

参考資料 準備物

- ・ おむつ マスク 使い捨て手袋 使い捨てエプロン ウェットティッシュ（除菌用ノンアルコールタイプ） 紙コップ タオル（座布団用）バスタオル（子どもへ上掛け用） お絵かきセット ゴミ袋 ノロ対策スプレー おもちゃ 筆記用具 名札テープ（白地の布ガムテープが良い）長机（会場から借りる）

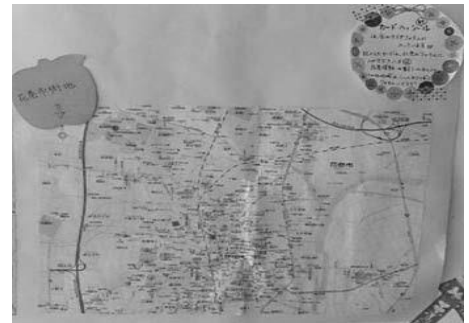
5. 調査・研究

5-1 公園・子連れマップ

「おしゃべり掲示板」にてたくさんのママからクチコミ情報が寄せられていて、これを参考にしているママの姿も見られる。そこで「花巻の子連れで行ける情報をマップにしよう！」と思って企画。ママが欲しい情報はママが持っているので今後も口コミ情報を募集していく。

(ママの声)

- ・ 暖かくなったら参考に、公園に行ってみます。
- ・ 掲示板を見て新たな情報をゲットして、「行って来ました〜！」という声もありました。



5-2 一関おやこ広場

今後の「花巻ママハウス」の運営の参考に資する目的で、視察を行った。その結果は、地域福祉課に報告し、今後の母子支援の参考に届けた。

内容：年間利用者が1万人という実績状況、市街地活性化施設内での運営状況、複合施設内における“おやこ広場の運営方針、活動内容広場の役割”の視察・研修。

視察先：一関おやこ広場と「花巻ママハウス」の今後の展望を探る。

◇目的地：なのはなプラザ おやこ広場 1階 NPO 法人いちのせき子育てネット

〒021-0881 岩手県一関市大町4-29

◇日程：2015年11月9日（月）午後10時～12ヒアリング事項

①年間利用者が1万人の実績

昨年の利用者実績は約1万人弱。一日の利用者は30組位。月～金10～16時開館。一関市内に子育て支援センター増設されてからは、1日10～20組位の利用。利用者は主に3歳以下の乳幼児を持つ親と子。主に母子での利用が多いが、父子、祖父母孫などの利用もある。また、第2子がいる人の利用が多い。

②市街地活性化施設内での運営状況、複合施設内における広場の役割

- (1) 2つの任意団体が合併し、一関地域子育てネットワーク「虹」を結成、その後、平成20年「いちのせき子育てネット」として法人格を取得し、現在の場所にておやこ広場を開設。施設利用負担金はなし、光熱費などは一関市負担。その他運営費は一関市の行委託費で運営。
- (2) 施設は、一関駅近くという立地で利便性が高い場所にある。施設内には、市民活動スペース、一関コミュニティ FM、地場産品を販売する商店などある。(資料参照)

おやこ広場には、広場利用が主の目的以外にも、同施設内を利用するついでに休憩に立ち寄る、隣接する商店で食べ物を購入し食事をする、孫を預かる祖母が市民活動スペースを利用する間、祖父が孫と一緒に利用する、母の買い物の間、父が子と一緒に遊んで待つ等で利用されることも多い。また第2子をもつ親と子の利用が多いのは、母が1人で子供を連れて買い物をすることに疲れを感じ、親子共に一息をつける場所として利用できることが商業施設に隣接する広場として良い役割を果たしている。

③おやこ広場の運営方針、活動内容

(1) 運営方針

交流の場等を通して、健やかな子供の成長と安心して子育てができる環境作りのための支援活動を行うことにより、子育て中の親の不安や悩み、孤独感、子育て負担感の緩和を図ることを目的としている。一関市は、子育て支援・少子化対策から、核家族化が進む現代社会に於いて子育て中の母親を孤立させず、地域で母子を支えていく取組に力を入れている。スタッフは2名。保育士、子育てボランティア経験者。

(2) 活動内容

①広場の開設…主に0～3歳児と保護者を対象に居場所の提供。

月～金、10時～16時。休みは土日、祝日、お盆、年末年始

②パパ広場…月一回、日曜日開催。パパの育児参加を目的に開催。パパが来やすい、育児に参加しやすい雰囲気を心掛けている。

③イベント…小さい子の為の運動会、いちご狩り、いも煮会、ハロウィンなどがあるが、基本的に季節の行事以外はノープログラム。複合施設内にあることから、何時来ても参加しやすいように設定している。

*「花巻ママハウス」には、毎月、多くのプログラムが動いている。

(3) 連携機関

広場は1フロアの空間、戸外遊びができないということもある。スペース上の観点から3歳以上の動きたい子ども向けには、一関市内の子育て支援センターなどを紹介している。相談事や見守りが必要なケースは子育て支援課、保健センター等と連携している。

絵本の読み聞かせボランティア、高校生ボランティア、中学生の職場体験など受け入れをしている。

*「花巻ママハウス」は、“女性なんでも相談”が寄り添い型で、月曜から日曜日、10時—16時に開設している。

(4) その他

子供が好奇心旺盛になる時期に、母親が広場以外にも目を向けて、子供と外で遊ぶことができるように一関公園マップを作製。

*「花巻ママハウス」では、来館者のママたちが、市内の公園やお店など子連れ参加しやすさ状況を自主調査し、マップ作りの過程である。

5-3 ホームページの再構築

見たいページが簡単に即座に検索できるよう、岩手県男女共同参画センター、盛岡市の女性センター、東京都の東京ウイメンズプラザのHPを参考に、検索の短縮化と画面構成の検討を行った。北上と花巻の2業者に説明し、花巻の“スターブリッジ岩手株式会社”に依頼した。

結果、検索の長いスクロールを要せず、必要な情報へのアクセスが向上し、複数の検索も容易にできるよう改善された。



5-4 「花巻ママハウス」自主財源確保の取り組み

自主財源確保を目指し、2016.1-3にかけて、目標額 200 万円を目指して、赤い羽根共同募金（地域見守り応援募金）に取り組んだ。花巻市内の商店や公共施設のご協力いただくものの、中々募金が集まらない中、花巻市社会福祉協議会のご支援等頂いている。

赤い羽根募金は、県共同募金会の払込書を郵便局での ATM で簡単に振り込みができる仕組みでの募金集めである。納付した方には求めに応じて、県の募金会から領収書が送られ、所得税と住民税の寄付金控除として、税額控除が受けられるものであり、また、500 円以上の協力者にはソバッチのバッチ (右の図) をお渡ししている。「花巻ママハウス」は設立してまだ 1 年 9 か月、行政機関や商業者など一部であるが、ご協力いただきました。募金額の集計は 3 月末ですので、WEB 等で改めてご報告申し上げます。誠に有り難うございました！



あったかいわてプロジェクト
 ～地域みまもり応援募金～
 募金期間：平成 28 年 1 月 1 日～3 月 31 日

「花巻ママハウス」は無料で利用できる、ファミリーサービスです。お子さん連れのママに聞かず、ママのみでも、プレママさんでもお誘いさん連れでも、女性なら誰でもご利用できます。サロン活動、女性なんでも相談、サポーター派遣事業を行っています。

子どもの笑顔を広げる 花巻ママハウス

ママ講師による各種講座 (ベビーマッサージ、ベビータンダンス、子連れヨガなど) 職業の研修 (アルバイト、靴づくり、手縫い) ママ同士の交流の場 (血液検査、リサイクル交換会、手紙講座) ママへのリラックスタイム (リンパマッサージ) ママたちのおしゃべりの場としてはもちろん、直事やおむつ交換、授乳のためにらうりと思われる態様の提供。

女性なんでも相談
 子ども・結婚・仕事・DV・お金のことなど、実態を把握するために相談員と一緒に考えます。安心して相談できるように配慮し、無料で相談をお受けします。

妊産婦等 子育て・家事支援サポーター 派遣事業
 産前・産後等で体調不良のため、育児や家事等が困難なお母さんのおいる家庭にサポーターを派遣し、援助することです。お母さんの精神的、肉体的負担を軽減するサービスです。

連絡先
 〒025-0002 岩手県花巻市上町 272-1 伊保住宅 8 号棟
 TEL・FAX: 0199-2949000
 MAIL: hachikawamama@so-net.ne.jp
 WEB & Facebook: 花巻ママハウスで検索
 開館日時：月曜～土曜 10 時～16 時 (日・祭日は休)

特定非営利活動法人 母と子の虹の架け橋 花巻ママハウス

社会福祉法人岩手県共同募金会 〒020-0851 盛岡市三本町 1-3 TEL: 019-637-8089

「母と子の虹の架け橋」の募金箱・募金の払い込み書のご協力機関・店舗			
	依頼先	募金箱	払込書
1	イトウヨーカ堂2FKISEI【美容室】		○
2	妙円寺	○	○
3	広隆寺	○	○
5	ビッグハウス	○	○
6	家山子	○	○
7	つたの輪		○
9	イエローハット	○	○
10	藤原美容室	○	○
11	スープカレーハウスしっぽ	○	○
13	川嶋医院	○	○
14	宮内医院	○	○
15	ゆかわ脳外科	○	○
16	紅四季	○	○
18	彩月(焼肉屋)	○	○
19	ケース電気	○	○
20	源喜屋	○	○
22	銀河モールジョイス【銀河モール管理人】		○
23	各地区振興センター		○
24	子ども支援センター		○
26	花巻市内の各図書館		○
27	花巻ママハウス	○	○
28	釜石ママハウス	○	○
29	ベビーホーム・虹	○	○
31	虹の家	○	○
32	青葉ビル	○	○
33	あいどる	○	○
35	仙壽院(釜石)	○	○

花巻市内 (14-26)
 釜石市内 (28-35)

郵便局で振込みをお願いします。

払込取扱票

振替払込請求書兼受領証

社会福祉法人岩手県共同募金会

〒025-0002 岩手県花巻市上町 272-1 伊保住宅 8 号棟

TEL・FAX: 0199-2949000

MAIL: hachikawamama@so-net.ne.jp

WEB & Facebook: 花巻ママハウスで検索

開館日時: 月曜～土曜 10 時～16 時 (日・祭日は休)

特定非営利活動法人 母と子の虹の架け橋 花巻ママハウス

社会福祉法人岩手県共同募金会 〒020-0851 盛岡市三本町 1-3 TEL: 019-637-8089

特定非営利活動法人 母と子の虹の架け橋とは？

2011 年 3 月 11 日に起きた「東日本大震災」に対応して実施した「被災妊産婦ケア事業」の流れを、被災者の帰郷先において継続させるため、地元の行政・NPO 等との協働により、ママと子らの心身のケアと絆の再生、技能習得などに関する事業を行い、ママと子らの笑顔を広げ、心身の安定及び就労の促進と生活再建・生活復興に寄与することを目的として設立された団体が、NPO 法人「母と子の虹の架け橋」(略称「虹の会」)です。



母と子の虹の架け橋コンセプト

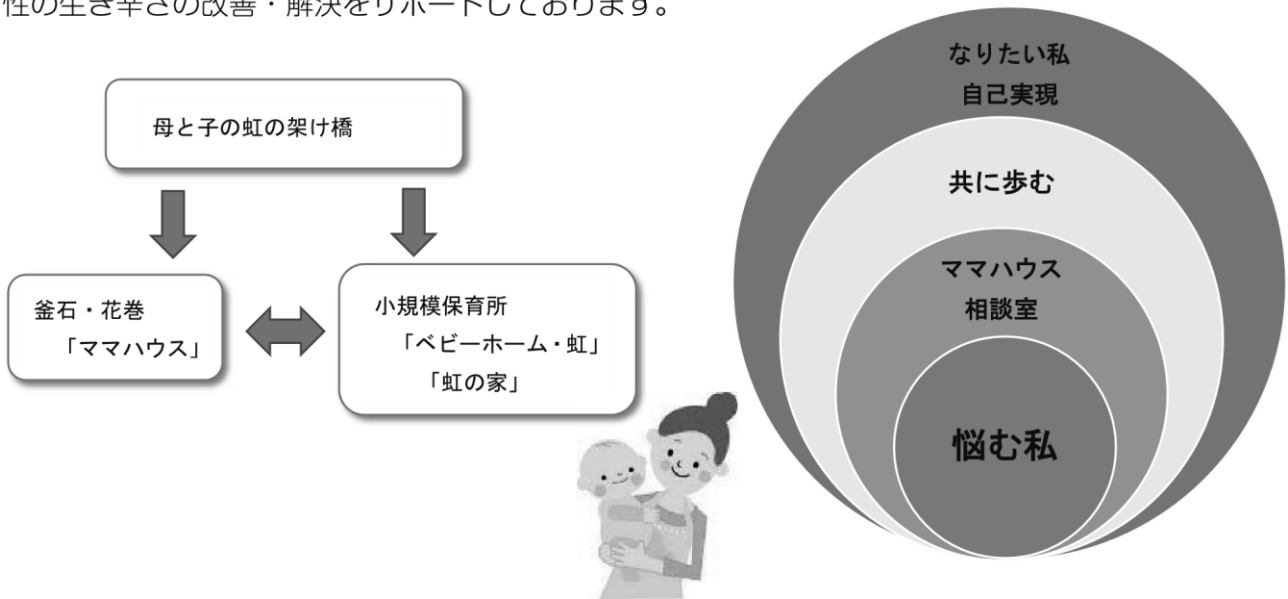
自立支援、開かれた運営、家族や社会の元気の元である「ママ」を笑顔に！

「虹の会」は、母と子の笑顔を広げることを目的に、以下のコンセプトで展開しています。

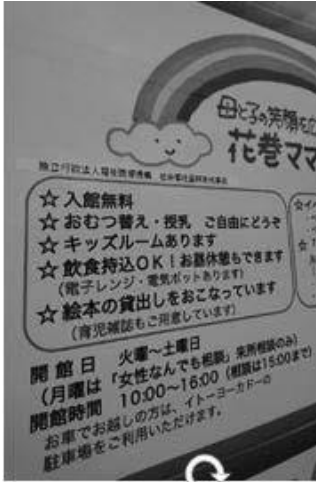
「釜石ママハウス」(2011.9.25-)はママの居場所として機能させ、何でも語れるしゃべり場空間とキッズルーム(遊びの空間)をご用意して、母子ともに、楽しいひと時と寛ぎを味わって頂ける活動のほか、各種セミナーを企画運営し、ママ友づくりやママらの就労支援を行っております。また、ママハウスのしゃべり場を出た働きたくても保育所に預けられないで困って居るとの声をバックに、釜石にて、「虹の家」(2012.5-)は当初、待機のママのお子様の保育を 2015.6 からは、「ベビーホーム虹」(2014.8-)と同じく、3 歳未満児小規模保育所として釜石市の委託で保育を行っています。



また、「花巻ママハウス」(2014.6.3-)では、2014 年 12 月より、“女性なんでも相談事業”、2015 年 12 月から、新たに、“妊産婦等の子育て・家事支援サポーター派遣事業”を行っており、女性の生き辛さの改善・解決をサポートしております。



施設紹介



看板 開館日は、現在は月曜日一日曜日



ママハウス外観



外壁の看板



サロン

キッズルーム



ママの手作り作品・展示コーナー



相談室



キッチン

025-0062 岩手県花巻市上小舟渡 272-1 8号棟

TEL・FAX：0198-29-6800

MAIL：hanamaki.mamahouse@gmail.com mamahouse.soudan@gmail.com (相談専用)

WEB & Facebook：[花巻ママハウス] で検索開館日時：月曜一日曜
10時～16時(祝祭日は休)

【朝日新聞販売店 風街通信 2015.6.28】

2015.6.28(日) vol.117 風街通信(かせまちつうしん)

花巻ママハウスのご紹介

『花巻ママハウス』は、特定非営利活動法人「母と子の虹の架け橋」が運営する、パーソナルサポートセンターです。イトーヨーカドーそばの一軒家を利用し、ママさん達の疲れ合いと憩いの場を提供しています。お子様連れのママさんはもちろん、ママさんのみでも、プレママさんでも、またお孫さん連れでも……女性なら誰でも無料で利用できます。

ゆっくりくつろいだり、おしゃべりの場にも使える居間。おもちゃや絵本いっぱいのおもちゃ部屋。自由に利用できるキッチン(電子レンジも有り!)などがあり、ママ&お子様にうれしい施設です。



親子で楽しめるダンスやヨガ、マッサージー。また、折り紙や工作など、各種講座を毎月開催。子ども服・子ども用品のリサイクル交歓会などのイベントもあります☆ そのほか、簡単に健康チェックができる血圧測定会なども実施。

「女性なんでも相談室」子育ての悩み、家族の悩み、ご近所の悩みーなど、一人で悩んでいませんか?なんでも相談室は、無料で相談できます。メールでの相談も可能です。manahouse_souda@gmail.com (相談専用メール) 詳しくは冊をご覧ください。

母と子の
笑顔をひろげる



FC25-0062 岩手県北上市小舟渡272-1
伊藤住宅ビル
TEL・FAX: 0196-29-6800
MAIL: hananaki@manahouse.jp
www.manahouse.jp (相談専用)
WEB&Facebook: [花巻ママハウス](#)で検索
開館日時: 火曜ー土曜 10時ー16時
(日・月・祝祭日は休)
(対象は「女性なんでも相談」のみ、詳細は)

ホームページ <http://hananaki-manahouse.jindo.com/>
Facebook <https://www.facebook.com/manahouse.hananaki>

【岩手日日 2015.10.17】

岩 手 日 日 平成27年(2015)10月11日 (日曜日)

子育て相談 体制強化

ママハウス

花巻市上小舟渡で母子支援施設「花巻ママハウス」を運営するNPO法人「母と子の虹の架け橋」(岩手県多摩英理事長)は、これまでの相談体制を強化するとともに、妊産婦などの子育てや家事サポート事業を新規スタートさせた。現在、利用会員とサポート会員を募集している。

独立行政法人福祉医療機構の社会福祉振興助成を受けた取り組み。これまでの「女性なんでも相談」を拡充したほか、新たに「妊産婦等子育て・家事支援サポート」派遣事業も手掛ける。このうち女性なんでも相談は電話、来所、電子メールともに平日午前10時から午後3時まで対応するとしていた。これまでは電話、来所とも一部の曜日に対応が限られており、一定の制限があったが、今回改めた。

新たに取組む妊産婦等子育て・家事支援サポート派遣事業では、1時間単位で妊婦や子育て中の女性を支援。利用会員の依頼を受けてコーディネートが調整し、必要な研修を受けた登録会員を派遣する。

サポートを希望する場合は、希望日の3日前までに申し込む。利用料は1時間当たり500円。サポート員として派遣された登録会員には、1時間当たり1,000円が支払われる。具体的には、体調がすぐれない妊婦の家事支援や、仕事で帰宅が遅れる場合の子供の送迎、買い物の代行などを想定している。

問い合わせは花巻ママハウス(0198)29)6800へ。

【岩手日報 2015.12.31】



富石市の母子支援施設で子どもたちと交流するスタッフら。母親同士の交流や育児相談の場でもあり、仕事や育児に奔走する母親を支えている（NPO法人母と子の虹の輝きプロジェクト）

3・11 教訓

—内陸から—

「担い手」育成 後押し

花巻の母子支援団体

東日本震災時、体力・気力・守る心など、被災者は様々な困難に直面した。震災後、被災者の生活再建は、生活再建支援法、生活再建支援基金、生活再建支援基金（被災者生活再建支援法）などによって進められた。被災者の生活再建支援は、被災者の生活再建支援法、被災者生活再建支援基金（被災者生活再建支援法）などによって進められた。被災者の生活再建支援は、被災者の生活再建支援法、被災者生活再建支援基金（被災者生活再建支援法）などによって進められた。

生活の変化に対応を

東北を駆け巡る被災者支援。被災者支援は、被災者の生活再建支援法、被災者生活再建支援基金（被災者生活再建支援法）などによって進められた。被災者の生活再建支援は、被災者の生活再建支援法、被災者生活再建支援基金（被災者生活再建支援法）などによって進められた。

【岩手日報 2016.1.18】

日 幸 報 2016年（平成28年）1月18日（月曜日） 地 域（20）

妊産婦の「孤立」防げ

花巻のNPO法人

花巻市上小舟渡のNPO法人母と子の虹の架け橋（若菜多摩英理事長）は「妊産婦等の子育て・家事支援サポート事業」を始めた。育児経験者が、育児に不安を抱えていたり仕事との両立を図りたい母親らの自宅に出向き、家事を手伝ったり赤ちゃんの沐浴を補助。孤立しがちな母親たちの負担軽減につなげ、充実の子育てを促す狙いだ。

家事代行や経験者が支援開始

同法人は同市上小舟渡に、母親同士や育児の先輩との交流ができる「ママハウス」を設け運営してきた。花巻保健センターによると、在宅で家事を中心に支援する育児サービスは市内で初めて。支援内容は▽簡単な食事の支度▽衣類の洗濯▽部屋の掃除▽食器や生活用品の買い物▽健康診の付き添いなど。午前8時～午後7時で、1日最大4時間。料金は1時間500円。利用の3日前までに電話予約する。回市や近隣に住み、日中に家族などの支援を受けられない人が対象。希望者はまず事前登録し、ママハウススタッフや支援サポートと相談の上で必要に合ったサービスを決める。体面や仕事の都合の

花巻ママハウスで交流する母親ら。新たに自宅を訪ね家事を手伝うサービスも始めた

ほか、転入を機に孤立に利用しては「こ」を募集。2月2日でする母親は少なからず呼び掛け。同法人は、育児経験者や家事を一人で抱えを生かしたい人や空花巻ママハウス（0198・290・6800）に相談する感覚で気軽にたいい人「支援の側」に「0」を。>

（1500円）
 ●12日（祝）ベビーマッサージ
 10時30分～11時30分 要予約
 （13000円）
 ●13日（金）直産測定会
 10時30分～11時30分 要予約
 ●17日（祝）新り感測定
 10時～11時 予約不要
 ●19日（祝）サシェ
 10時30分～11時 予約不要
 （5000円）
 ●20日（祝）ベビータンダンス
 10時30分～12時 要予約
 （10000円）
 ●24日（祝）ベビマ&おまじか
 10時30分～11時30分 要予約
 （13000円）
 ●24日（祝）産後ヨガ
 13時～14時 要予約
 （10000円）

（15000円）
 ●26日（祝）癒したいママのおしゃべりルーム
 10時30分～11時30分 要予約
 （5000円）
 ●28日（日）ア月のふゆの時間
 10時30分～11時 予約不要
 （3000円）
 ●合アルバムの特典 牛乳状企画

「十月31日の年賀状を作ったみたい」という声に呼応して、ハガキ大の紙に写真を貼ってデコレーションして、額本を作ります。それをご家庭のプリンターでコピーすると、完成★
 日時：11月10日（日）12月1日（火）10時30分～11時

〒025-0006 茨城県土浦市表272-1 伊藤住宅5号棟
 電話：0198-29-6800

**妊娠編等
 子育て・家事支援
 サポーター派遣事業**

「社会編等」子育て・家事支援「サポーター派遣事業」とは、産前・産後等で体調不良等のため、育児や家事が困難なお母さんのいる家庭にサポーターを派遣し、援助をすることで、お母さんの精神的・肉体的負担を軽減するサービスです。

「花巻ママハウス」の家事支援サポーターがご自宅へ訪問し、

のコーディネートがお宅へ訪問して利用者の皆さまと打ち合わせの上、提供されるサービスの内容を決定します。なお、サービスの内容は日常生活にかかわる範囲とします。

※出生したお子さんの保育は対象となりません。

・簡単な食事の支度・下準備
 ・衣類の洗濯
 ・部屋の掃除・整理整頓
 ・食料や生活用品の買物
 ・上の子の送迎
 ・雑用等の付帯業務 他

▽利用について

○利用期間基本は毎月12月29日～1月31日（年始を除く）8時～午後7時のうち、1時間単位で1日4時間まで、1ヶ月の派遣回数は2回までです。

○利用料金 1時間につき1000円。ただし、利用時間が1時間未満な場合も1時間の利用の扱いとなります。料金は訪問したサポーターに直接お支払いください。

※支払い費、お母さまご自身の交通費がかかる場合は、実費を負担していただきます。

▽申し込みから利用までの流れ

妊娠編等子育て・家事支援サポーター派遣事業を利用しようとする者は、子育て・家事支援サポーター事業利用定款書（第1号様式）により「花巻ママハウス」に申請するものとする。

http://hanamaki-mamahouse.jp/info.com/

「花巻ママハウス」より利用

となり、サービス利用の申し込みは、ママハウスは、コーディネートサービスの内容を協議し、相互に承認します。

●子育て・家事支援サポーターの派遣開始日につきましては、出生した子の見届けが済んでいるご家庭で、保育費・学費等必要なお返金は、1日につきお返し内とし、利用開始日（サポーターの派遣を受けた日）を登録委員（サポーター）にて、支援することをご希望の方、申込は、1時間単位（お昼中）に問合せ、連絡先

「花巻ママハウス」
 〒025-0006 茨城県土浦市表272-1 伊藤住宅5号棟
 電話：0198-29-6800

●利用者には、1時間につき1000円の利用料をサポーターに支払います。

●利用者がある日の前日の午後5時に到着する前までに振り替えた場合は、必ず料金は事前です。

しかし、利用日の前日の午後5時以降及び当日に取り消された場合は取消料は訪問となり、利用料金（サポーターの派遣を受けた日）を登録委員（サポーター）にて、支援することをご希望の方、申込は、1時間単位（お昼中）に問合せ、連絡先

「花巻ママハウス」
 〒025-0006 茨城県土浦市表272-1 伊藤住宅5号棟
 電話：0198-29-6800

メール：hanamaki-mamahouse@gmail.com
 日本：http://hanamaki-mamahouse.jp/info.com/（ホームページ）

http://www.facebook.com/mamahouse.hanamaki
 フェイスブック

